

令和7年度
埼玉県産業廃棄物処理実績報告等
集計業務報告書
(令和6年度実績)

令和8年3月



埼玉県

目 次

第1章 調査概要.....	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査対象期間	1
1.3 調査対象廃棄物.....	1
1.4 調査対象業種	2
1.5 語句の定義	2
1.6 産業廃棄物の処理フロー.....	3
1.7 廃棄物処理基本計画の目標値.....	4
第2章 産業廃棄物の排出量及び処理量の推計.....	5
2.1 推計方法	5
2.2 推計結果	12
第3章 行政報告の入力、整理.....	26
3.1 産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの 入力、整理	26
3.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書データの入力、整理.....	30
資料編	32
1. 県内産業廃棄物処理施設での品目別及び処理方法別の処分量.....	33
2. 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量.....	41
(県内処分量、県外運搬量)	41
3. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内・県外別、.....	42
運搬先別、品目別運搬量.....	42
4. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量.....	47
5. 産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量.....	52
6. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量.....	54

第1章 調査概要

1.1 調査の目的

本調査は、産業廃棄物処分業者等から報告された令和6年度の産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物排出事業者から報告された産業廃棄物処理計画実施状況報告書や産業廃棄物管理票交付等状況報告書等のデータを入力、集計、解析するとともに、県内における令和6年度の産業廃棄物の排出と処理の実態を推計し、把握することを目的とした。

1.2 調査対象期間

令和6年度：令和6年4月1日～令和7年3月31日

1.3 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」(以下、「廃棄物処理法」とする。)に定められた産業廃棄物及び「その他(混合廃棄物)」を加えた21種類を対象とした。

表1.3-1 調査対象廃棄物

1：燃え殻	12：ゴムくず
2：汚泥	13：金属くず
3：廃油	14：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
4：廃酸	15：鉱さい
5：廃アルカリ	16：がれき類
6：廃プラスチック類	17：動物のふん尿
7：紙くず	18：動物の死体
8：木くず	19：ばいじん
9：繊維くず	20：政令第十三号廃棄物
10：動植物性残さ	21：その他(混合廃棄物)
11：動物系固形不要物	

1.4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（令和6年4月改定）に基づく業種区分を基本とし、表1.4-1のとおりとした。

表1.4-1 調査対象業種

調査対象業種	分類される業種
農林漁業	農業、林業、漁業
鉱業	鉱業、採石業、砂利採取業
建設業	総合工事業、職別工事業、設備工事業
製造業	食品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業など
電気・ガス・水道業	電気業、ガス業、熱供給業、水道業
情報通信業	通信業、放送業、情報サービス業など
運輸業	鉄道業、道路旅客運送業、水運業、倉庫業など
卸・小売業	各種商品卸売業、各種商品小売業
物品賃貸業	不動産取引業、不動産賃貸業、物品賃貸業
学術研究、技術サービス業	学術・開発研究機関、専門サービス業など
飲食業	宿泊業、飲食店など
生活関連サービス業	洗濯・理容・美容・浴場業、娯楽業など
医療	医療業、保険衛生、社会保険・社会福祉・介護事業
サービス業 (他に分類されないもの)	金融・保険業、郵便局、協同組合、廃棄物処理業、自動車整備業、宗教、公務など

1.5 語句の定義

- ① 排出量：「第9次埼玉県廃棄物処理基本計画」（令和3年3月策定）から国との整合性を考慮して使用しているもので、排出量は有償物量を除いたもの。

$$\text{発生量} = \text{排出量} + \text{有償物量}$$

1.6 産業廃棄物の処理フロー

産業廃棄物の発生から最終処分までの一連の流れは、図1.6-1に示すとおりである。また、処理フロー図の用語について表1.6-1に示す。

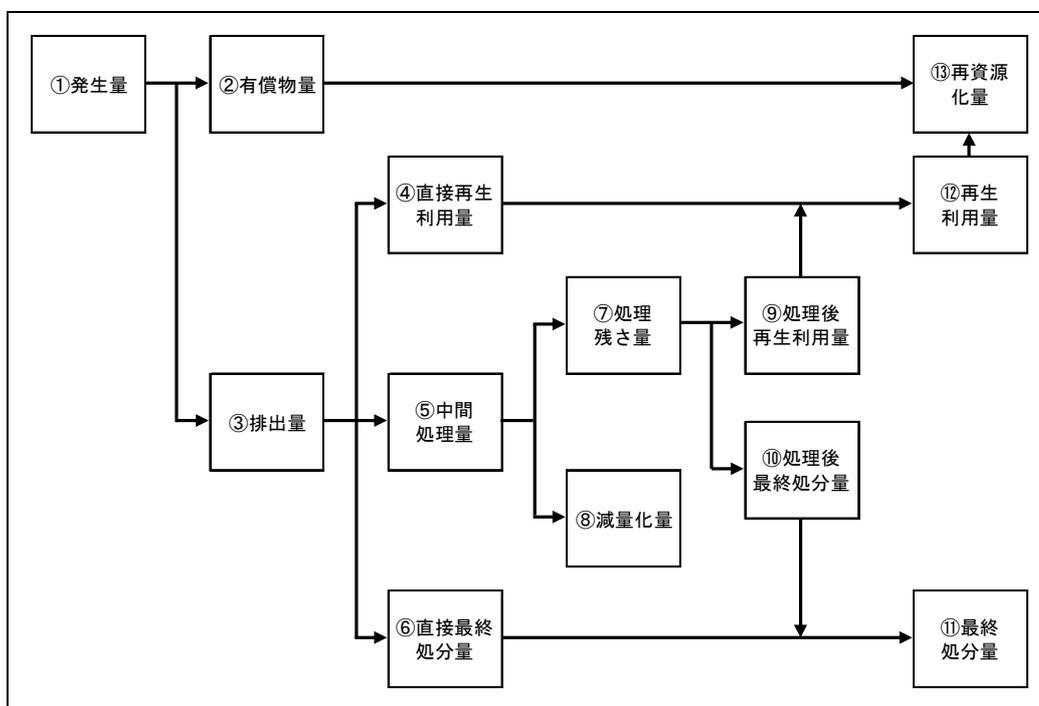


図1.6-1 産業廃棄物の処理フロー

表1.6-1 処理フロー図の用語

項目	定義
①発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
②有償物量	発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
③排出量	発生量のうち、有償物量を除いた量
④直接再生利用量	他者に有償売却できないものを自ら利用した量
⑤中間処理量 (自己、委託)	排出量のうち、自己、委託中間処理を含め、中間処理された量
⑥直接最終処分量	排出量のうち、中間処理されずに排出事業者又は処理業者により最終処分された量
⑦処理残さ量 (自己、委託)	中間処理された後の廃棄物量
⑧減量化量 (自己、委託)	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量
⑨処理後再生利用量 (自己、委託)	処理残さ量のうち、処理業者等で自ら利用又は他者に有償で売却した量
⑩処理後最終処分量 (自己、委託)	処理残さ量のうち、最終処分された量
⑪最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
⑫再生利用量	排出事業者、処理業者等で再生利用された量
⑬再資源化量	有償物量と再生利用量の合計

1.7 廃棄物処理基本計画の目標値

「第9次埼玉県廃棄物処理基本計画」における産業廃棄物の目標指標は、「最終処分量」となっており、目標値は次のとおりである。

① 最終処分量

令和7年度の最終処分量を150千tに削減

※平成30年度実績（159千t）比、5.7%削減

第2章 産業廃棄物の排出量及び処理量の推計

2.1 推計方法

令和6年度に実施した産業廃棄物実態調査、産業廃棄物処理実績調査データ等と、第3章で整理した多量排出報告書、産業廃棄物管理票交付等状況報告書等のデータを用いて、令和6年度に埼玉県内で発生した産業廃棄物の排出量、再生利用量、最終処分量等の推計を行った。

また、下水道施設、農業等に関する資料データは、表2.1-1に示す資料を用いた。

(1) 排出量の推計

排出量の推計は図2. 1-1に示すフローに従って行った。

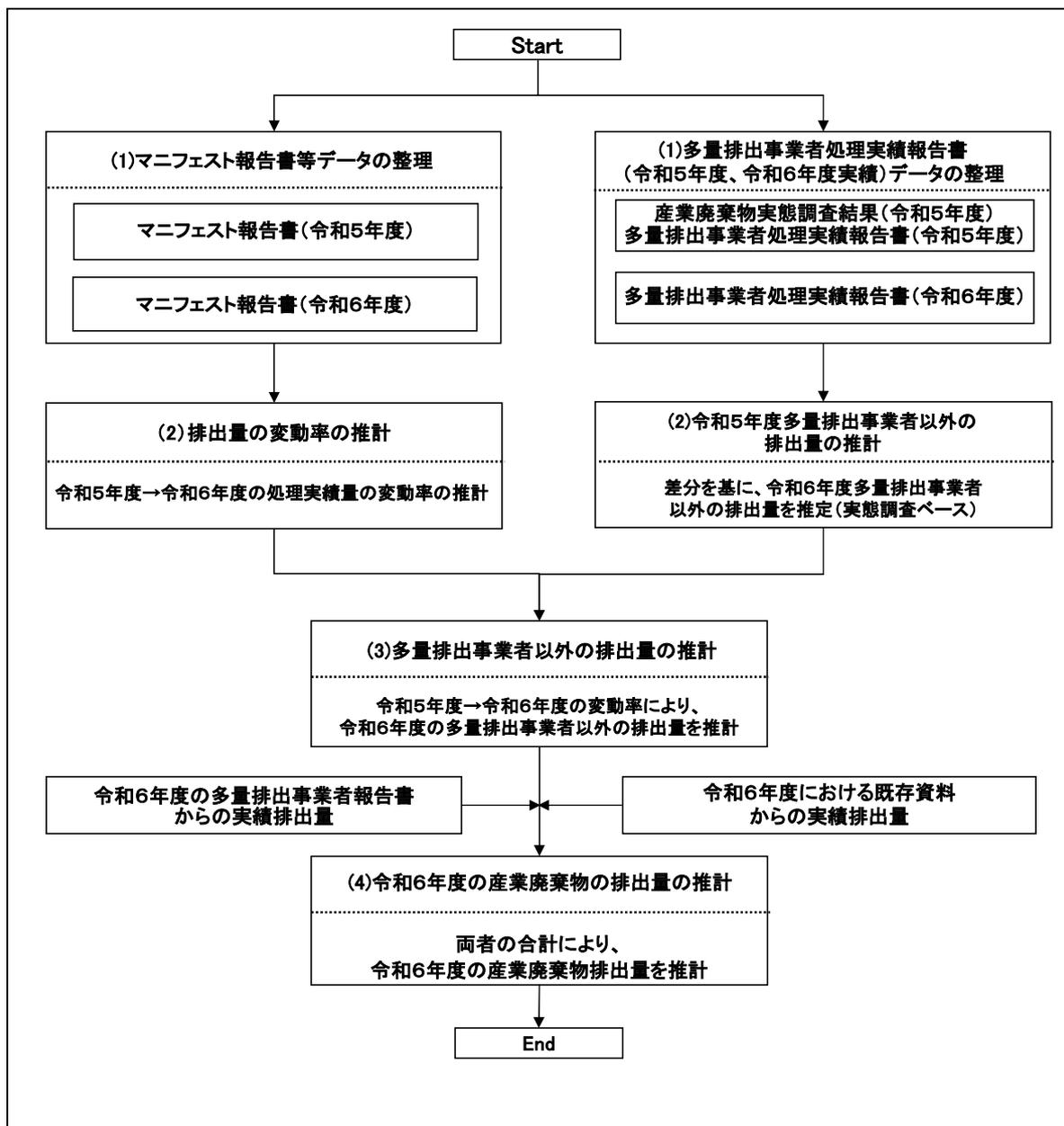


図2. 1-1 推計方法

③-1 排出量（多量排出事業者）

多量排出事業者の令和6年度の排出量（種類別、業種別）については、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの入力」で整理した実績値（令和5年度、令和6年度実績の提出がある事業者）を用いた。

③-2 排出量（多量排出事業者以外）

令和6年度の多量排出事業者以外の排出量を算出し、令和5年度実績から令和6年度実績のマニフェスト報告書排出量の増減率（A）を算出し、先に算出した多量排出事業者以外の排出量にこの増減率（A）を乗じて令和6年度の排出量（多量排出事業者以外）を推計した。

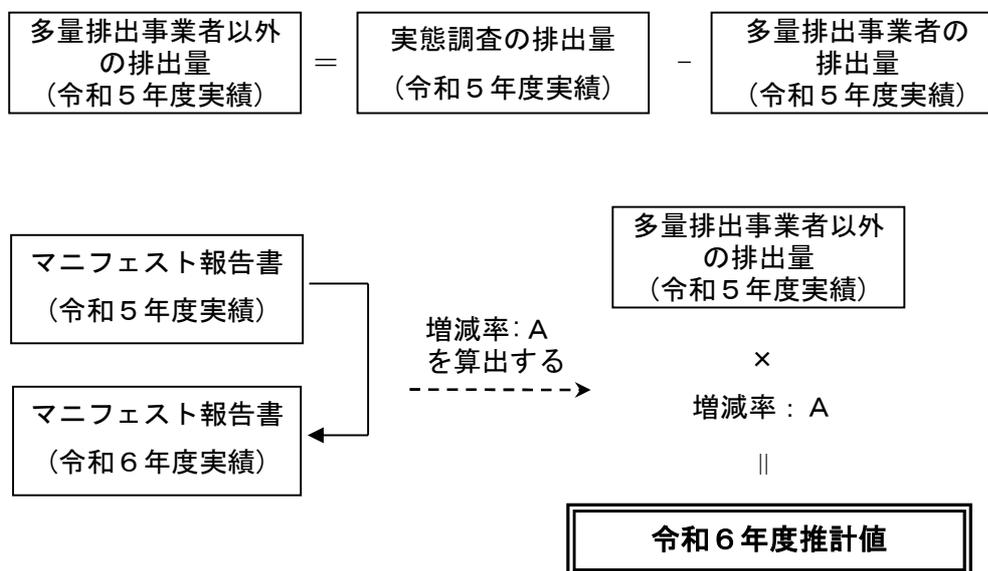


図2.1-2 排出量（多量排出事業者以外）の推計方法

③-3 排出量（農林漁業、鉱業、電気・ガス・水道業）

排出量の推計は「③-1 排出量（多量排出事業者）」「③-2 排出量（多量排出事業者以外）」の手法を基本としたが、農林漁業、鉱業の排出量の変動率については、マニフェスト報告書において把握することは困難であるため、既存資料により推計した。また、電気・ガス・水道業の「汚泥」については、別途まとめられている実績値を用いることとした。

表2.1-1 既存資料からの推計

業種	推計方法
農林漁業	動物のふん尿：畜産統計調査（農林水産省）における家畜頭数から推計 （令和5年度：573千t、令和6年度：577千t） 農業用廃プラスチック類：農業産出額の変動率より推計 （令和5年：1,636億円、令和6年：1,929億円）
鉱業	汚泥など：鉱工業指数（生産）の変動率より推計 （令和5年12月：111.2、令和6年12月：102.6）
電気・ガス・水道業	下水道汚泥：令和5、令和6年度下水道維持管理年報（公益財団法人埼玉県下水道公社）

② 有償物量

有償物量は、変動を把握することが困難であるため、「③ 排出量」と同様の変動率を用いて、推計を行った。

① 発生量

発生量は、「③ 排出量」と「② 有償物量」の合計であり、「③ 排出量」と「② 有償物量」の合計値とした。

(2) 処理・処分状況の推計

前述の方法で推計した排出量を用いて、種類別、業種別に処理・処分状況を推計した。廃棄物の処理・処分状況は、埼玉県内の産業廃棄物処分業者が処分を行う部分については、排出量の推移により推計した。

また、実績報告書等では把握できない排出事業者の自己処理（脱水、焼却等）に伴う減量化量や最終処分量等については、これらの処理施設を有する事業者の大部分が多量排出事業者であると仮定し、多量排出事業者報告書から推計した。

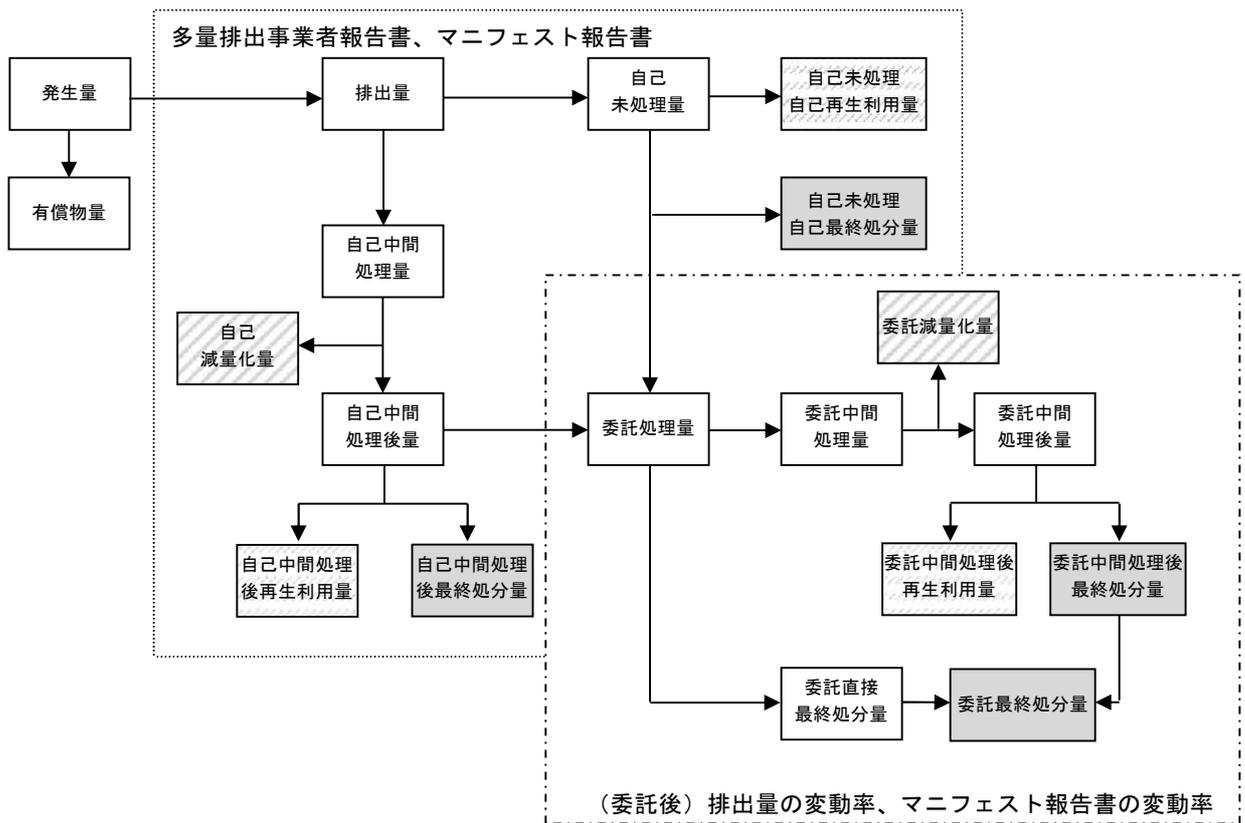


図2.1-3 産業廃棄物の処理・処分状況の把握手法概略図

④ 直接再生利用量

多量排出報告書の令和6年度の直接再生利用量について、令和5年度との増減率（B）を算出し、実態調査（令和5年度実績）の直接再生利用量にこの増減率（B）を乗じて令和6年度の直接再生利用量を推計した。

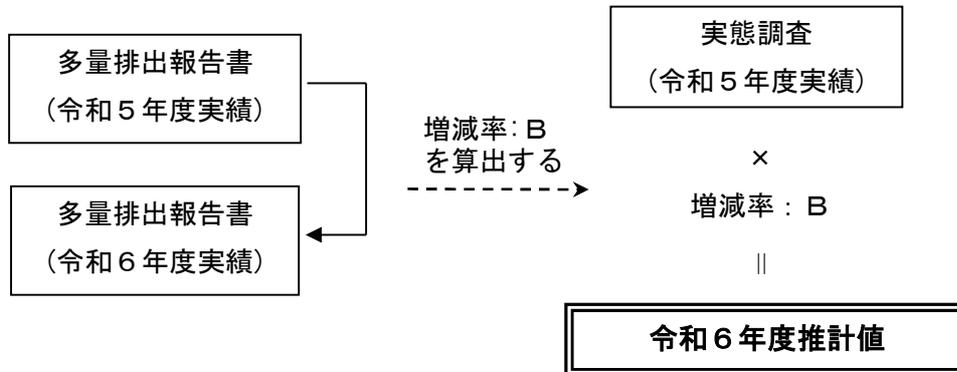


図2.1-4 直接再生利用量の推計方法

⑤-1 中間処理量（自己中間処理量）

中間処理量（自己中間処理量）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

⑤-2 中間処理量（委託中間処理量）

中間処理量（委託中間処理量）は「③排出量」から「④直接再生利用量」、「⑧-1自己減量化量」、「⑨-1処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑩-1処理後最終処分量（自己中間処理後）」、「⑥直接最終処分量」を減じた量とした。

⑥ 直接最終処分量

直接最終処分量は、マニフェスト報告書の令和6年度の委託量（埼玉県内発生分）について、令和5年度との増減率（C）を算出し、実態調査（令和5年度実績）の直接最終処分量にこの増減率（C）を乗じて令和6年度の直接最終処分量を推計した。

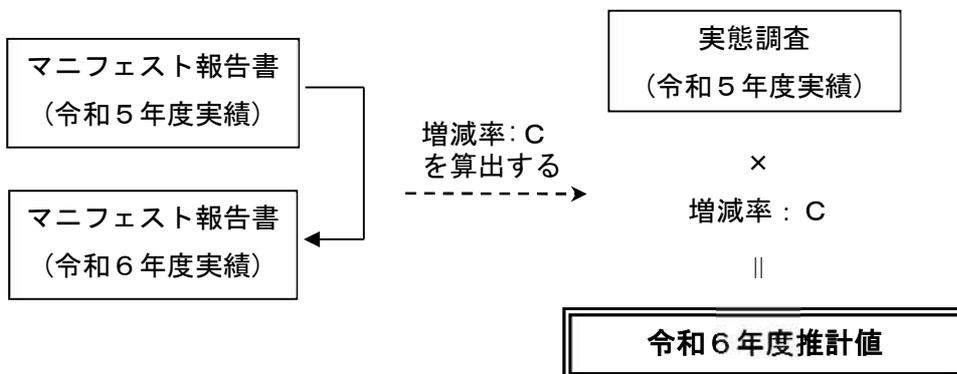


図2.1-5 直接最終処分量の推計方法

⑦-1 処理残さ量（自己中間処理後）

処理残さ量（自己中間処理後）は、後述する「⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）」の合計とした。

⑦-2 処理残さ量（委託中間処理後）

処理残さ量（委託中間処理後）は、後述する「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」、「⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）」の合計とした。

⑧-1 減量化量（自己中間処理後）

「⑤-1 中間処理量（自己中間処理量）」と「⑦-1 処理残さ量（自己中間処理後）」との差分により推計した。

⑧-2 減量化量（委託中間処理後）

「⑤-2 中間処理量（委託中間処理量）」と「⑦-2 処理残さ量（委託中間処理後）」との差分により推計した。

⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）

処理後再生利用量（自己中間処理後）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）

実績報告書の令和6年度の処理後再生利用量（委託中間処理後）については、「排出量」の令和5年度と令和6年度の増減率（D）を算出し、実態調査（令和5年度実績）の処理後再生利用量（委託中間処理後）にこの増減率（D）を乗じて令和6年度の処理後再生利用量（委託中間処理後）を推計した。

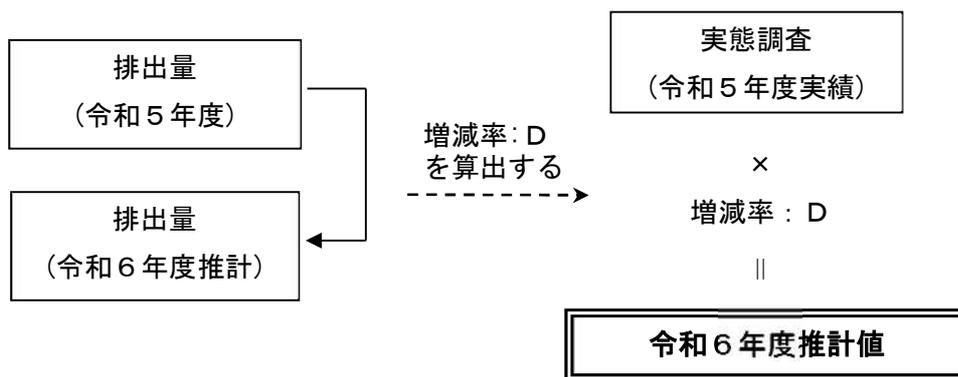


図2.1-6 処理後再生利用量（委託中間処理後）の推計方法

⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）

処理後最終処分量（自己中間処理後）は、「④ 直接再生利用量」と同様の方法で推計した。

⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）

処理後最終処分量（委託中間処理後）は、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」と同様の方法で推計した。

⑪ 最終処分量

最終処分量は、「⑥ 直接最終処分量」、「⑩-1 処理後最終処分量（自己中間処理後）」、「⑩-2 処理後最終処分量（委託中間処理後）」の合計とした。

⑫ 再生利用量

再生利用量は、「④ 直接再生利用量」、「⑨-1 処理後再生利用量（自己中間処理後）」、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」の合計とした。

⑬ 再資源化量

再資源化量は、「② 有償物量」、「⑫ 再生利用量」の合計とした。

⑭ その他量

その他量は、「⑨-2 処理後再生利用量（委託中間処理後）」と同様の方法で推計した。

また、本推計においては各項目について単独で推計を行っているため、一連の処理・処分状況において、不整合を生じる可能性がある。例えば、減量することができない鉄くず、がれき類などは中間処理前と中間処理後において推計値が異なる結果が生じる場合がある。その際には、一連の過程において不整合が生じないように適宜補正を行った。

2.2 推計結果

(1) 総発生量

令和6年度の種別・業種別の総発生量推計結果を表2.2-1に示す。

また、表2.2-2、図2.2-1に種別総発生量の経年変化、表2.2-3、図2.2-2に業種別総発生量の経年変化を示す。

令和6年度の総発生量は11,062千tであり、廃棄物種別にみると、汚泥が6,392千tで最も多く、次いでがれき類が1,820千t、動物のふん尿が577千tとなっている。業種別にみると、電気・ガス・水道業が4,573千tで最も多く、次いで建設業が3,004千t、製造業が2,609千tとなっている。

また、経年変化をみると、令和2年度以降は横ばいで推移している。

表2.2-1 種別・業種別の総発生量（令和6年度推計値）

①総発生量	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	物品賃貸業	学術研究、技術サービス業	飲食業	生活関連サービス業	医療	サービス業（他に分類されないもの）
	合計	合計	合計	合計	合計														
R 2年度 合計	-	-	-	-	11,521	497	2	3,575	2,343	4,878	0	20	81	9	8	21	7	44	36
R 3年度 合計	-	-	-	-	11,139	648	2	3,203	2,450	4,539	0	23	147	16	9	23	8	42	28
R 4年度 合計	-	-	-	-	11,423	611	2	2,914	2,666	4,984	0	22	97	14	7	31	7	42	25
R 5年度 合計	-	-	-	-	10,959	575	0	2,898	2,550	4,628	1	35	145	4	10	34	10	46	23
R 6年度 合計	11,521	11,139	11,423	11,139	11,062	579	0	3,004	2,609	4,573	1	34	136	4	10	35	10	46	22
燃え殻	47	39	39	6	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	6,508	6,301	6,732	6,377	6,392	0	0	826	982	4,560	0	1	7	0	1	5	8	1	1
廃油	112	109	115	102	101	0	0	2	71	0	0	5	16	0	0	3	0	0	3
廃酸	32	36	41	64	66	0	0	0	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	48	33	33	69	56	0	0	0	53	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
廃プラスチック類	316	388	374	444	439	0	0	76	249	1	0	11	56	0	2	25	1	6	10
紙くず	287	297	326	161	161	0	0	24	136	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	224	240	225	192	200	1	0	142	48	0	0	6	2	1	0	0	0	0	0
繊維くず	3	4	4	4	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	112	156	170	108	123	0	0	0	123	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	415	388	397	393	406	0	0	29	321	7	0	3	34	1	1	1	0	1	7
ガラスくず・陶磁器くず	252	268	294	472	485	0	0	95	383	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0
鋳さい	117	101	111	99	90	0	0	0	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	2,447	2,046	1,865	1,759	1,820	0	0	1,771	33	5	0	3	7	0	1	0	0	0	0
動物のふん尿	567	644	608	573	577	577	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	42	27	28	17	18	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他（混合廃棄物）	60	58	57	117	116	0	0	32	31	0	0	3	8	1	4	1	0	35	1

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-2 種類別総発生量の経年変化

(単位：千t/年)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
合 計	11,521	11,139	11,423	10,959	11,062
燃え殻	47	39	39	6	6
汚泥	6,508	6,301	6,732	6,377	6,392
廃油	112	109	115	102	101
廃酸	32	36	41	64	66
廃アルカリ	48	33	33	69	56
廃プラスチック類	316	388	374	444	439
紙くず	287	297	326	161	161
木くず	224	240	225	192	200
繊維くず	3	4	4	4	5
動植物性残さ	112	156	170	108	123
動物系固形不要物	1	1	2	0	0
ゴムくず	3	2	2	0	0
金属くず	415	388	397	393	406
ガラスくず・陶磁器くず	252	268	294	472	485
鉱さい	117	101	111	99	90
がれき類	2,447	2,046	1,865	1,759	1,820
動物のふん尿	567	644	608	573	577
動物の死体	-	0	0	0	0
ばいじん	42	27	28	17	18
政令第十三号廃棄物	0	0	0	0	0
その他（混合廃棄物）	60	58	57	117	116

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

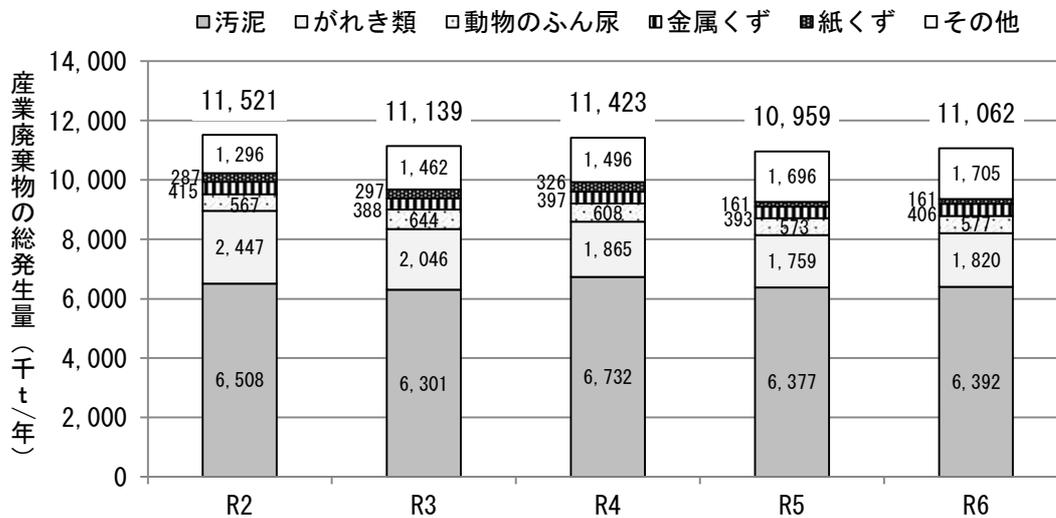


図2.2-1 種類別総発生量の経年変化

表2.2-3 業種別総発生量の経年変化

(単位：千t/年)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
合計	11,521	11,139	11,423	10,959	11,062
農林漁業	497	648	611	575	579
鉱業	2	2	2	0	0
建設業	3,575	3,203	2,914	2,898	3,004
製造業	2,343	2,450	2,666	2,550	2,609
電気・ガス・水道業	4,878	4,539	4,984	4,628	4,573
情報通信業	0	0	0	1	1
運輸業	20	23	22	35	34
卸・小売業	81	147	97	145	136
医療	0	42	42	46	46
サービス業等	125	84	85	81	80

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

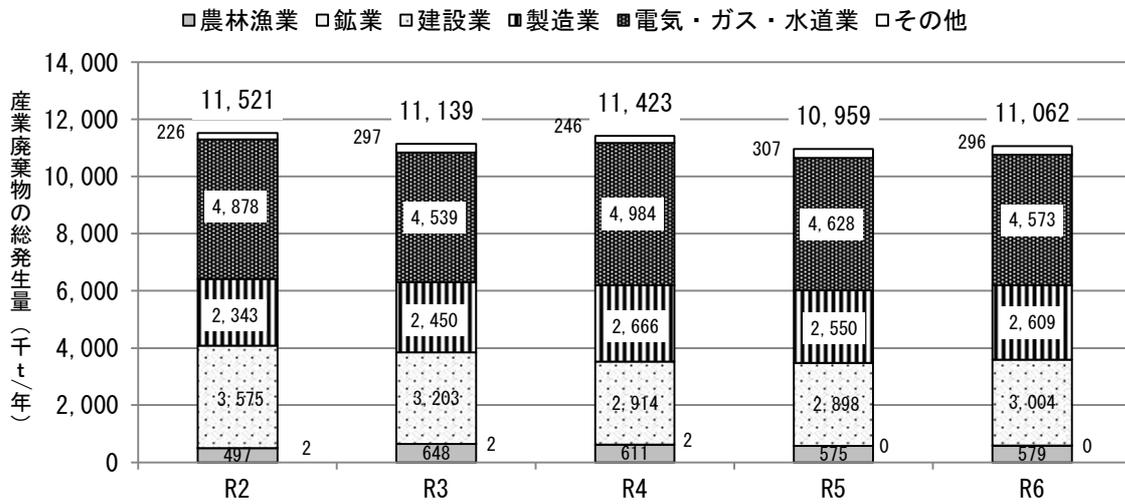


図2.2-2 業種別総発生量の経年変化

(2) 処理・処分状況

令和6年度の処理・処分状況の推計結果を表2.2-4、図2.2-3に示す。併せて、令和5年度推計結果を表2.2-5、図2.2-4に、業種別の処理処分状況の推計結果を表2.2-6(1)～(7)に示す。

令和6年度の総発生量は11,062千tであり、処理量の内訳をみると、再資源化量4,928千t(総発生量比45%)、最終処分量156千t(総発生量比1.4%)、総減量化量5,978千t(総発生量比54%)となっている。

また、経年変化(表2.2-7、図2.2-5参照)をみると、令和5年度と比較して総発生量、再資源化量、最終処分量は増加している。

表2.2-4 産業廃棄物の処理・処分状況（令和6年度推計値：全業種）

（単位：千t/年）

全業種	総発生量				排出量 ③'	発生量 ①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	うち再生 利用量 ⑫	最終処 分量 ⑪	その他 保管量	総減量 化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物 量 ②	総排出量 ③	うち脱水 減量 a								
合計	11,062	461	10,601	5,082	5,519	5,980	896	4,928	4,467	156	1	5,978
燃え殻	6		6		6	6	0	2	2	4		0
汚泥	6,392	23	6,370	4,960	1,410	1,433	586	825	802	22	0	5,546
廃油	101	17	84		84	101	49	46	29	6	0	49
廃酸	66	1	64		64	66	10	45	44	10	0	10
廃アルカリ	56	0	56		56	56	50	3	3	3		50
廃プラスチック類	439	33	406		406	439	85	326	293	28	0	85
紙くず	161	69	92		92	161	5	156	87	0	0	5
木くず	200	2	198		198	200	21	172	170	7	0	21
繊維くず	5		5		5	5	0	5	5	0		0
動植物性残さ	123	23	100	2	98	121	54	64	42	2		56
動物系固形不要物	0		0		0	0	0	0	0	0		0
ゴムくず	0		0		0	0		0	0	0		0
金属くず	406	257	149	0	149	406	0	401	144	5	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	485	18	466	49	418	436		423	405	13	0	49
鋳さい	90	0	90		90	90		90	90	0		0
がれき類	1,820	12	1,808		1,808	1,820	2	1,783	1,771	35	1	2
動物のふん尿	577		577	64	513	513		513	513			64
動物の死体												
ばいじん	18	1	18		18	18		18	18	0		
政令第十三号廃棄物												
その他（混合廃棄物）	116	4	112	8	104	108	32	55	51	21	0	40

※1 四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

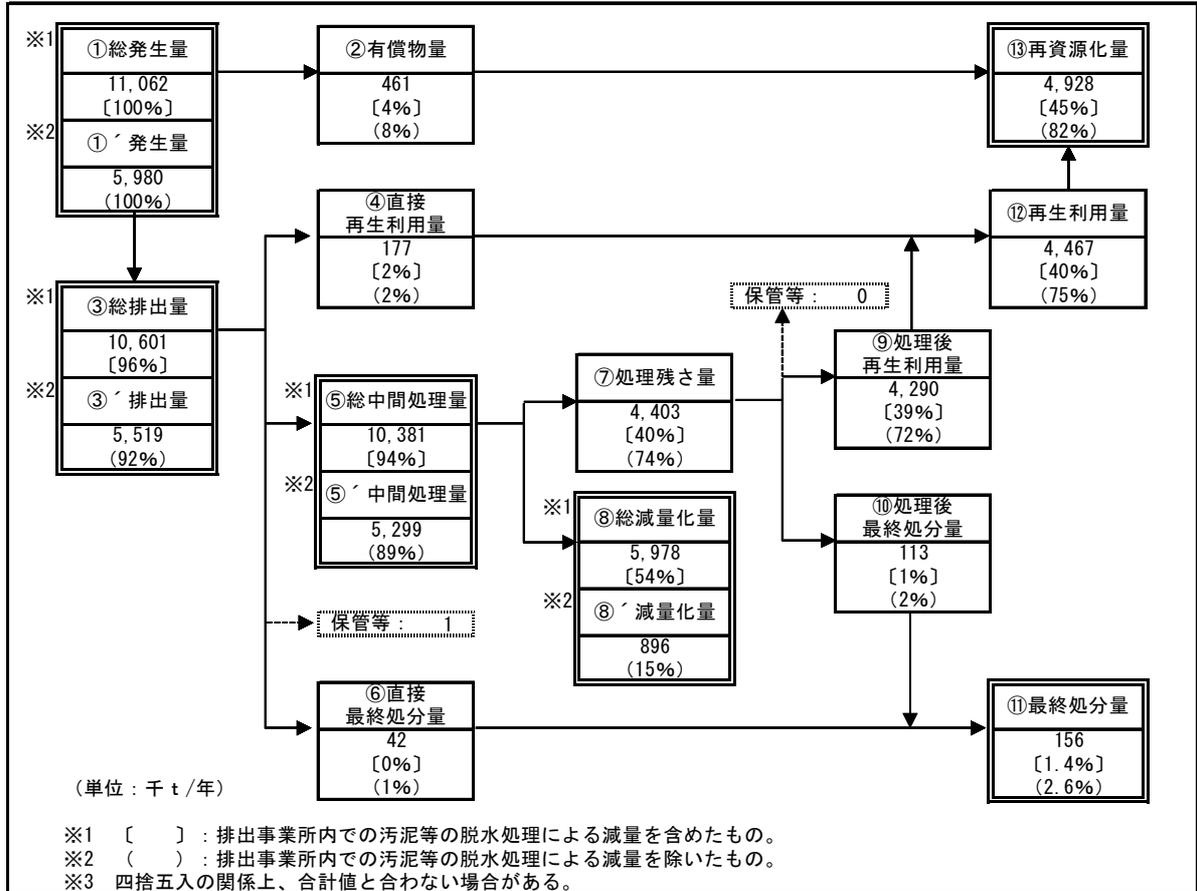


図2.2-3 産業廃棄物の処理・処分状況（令和6年度推計値：全業種）

表2.2-5 産業廃棄物の処理・処分状況（参考 令和5年度実態調査結果：全業種）

（単位：千t/年）

全業種	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他保管量		
							⑬	⑫				
合計	10,959	448	10,512	5,103	5,408	5,856	889	4,811	4,363	155	1	5,993
					③-a	②+③'						a+⑧'
燃え殻	6		6		6	6	0	2	2	4		0
汚泥	6,377	21	6,356	4,985	1,371	1,392	570	800	778	23	0	5,555
廃油	102	17	85		85	102	50	47	30	6	0	50
廃酸	64	1	62		62	64	10	44	43	10	0	10
廃アルカリ	69	0	69		69	69	61	5	5	3	0	61
廃プラスチック類	444	32	412		412	444	91	325	292	28	0	91
紙くず	161	70	91		91	161	5	155	85	0	0	5
木くず	192	2	190		190	192	20	166	163	7	0	20
繊維くず	4		4		4	4	0	4	4	0	0	4
動植物性残さ	108	22	87	1	86	108	47	59	37	2		48
動物系固形不棄物	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	393	246	147	0	147	393	0	389	142	4	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	472	18	453	46	407	425		412	394	13	0	46
鉱さい	99	0	98		98	99		99	98	0		
がれき類	1,759	12	1,748		1,748	1,759	2	1,722	1,710	35	1	2
動物のふん尿	573		573	64	509	509		509	509			64
動物の死体												
ばいじん	17	1	17		17	17		17	17	0		
政令第十三号廃棄物												
その他（混合廃棄物）	117	4	113	8	105	109	33	56	52	21	0	40

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

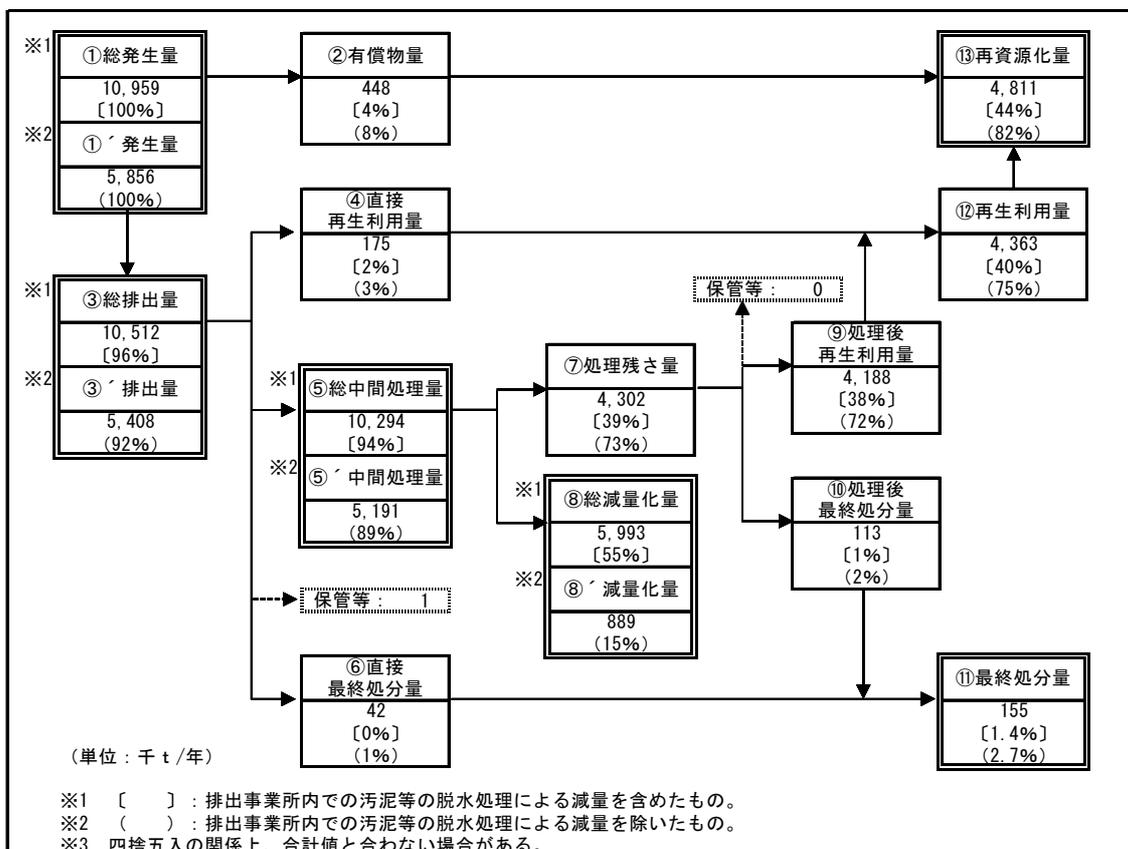


図2.2-4 産業廃棄物の処理・処分状況（参考：令和5年度実態調査結果：全業種）

表2.2-6 (1) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和6年度推計値)

[A:農林漁業、C:鉱業]

(単位:千t/年)

A:農林漁業	総発生量				排出量	発生量	減量化量	再資源化量		最終処分量	その他保管量	総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量				①' ②+③'	⑧'				⑬	⑫
				a										
合計	579	0	579	64	515	515	0	515	515	0	0	64		
燃え殻	0		0		0	0		0	0					
汚泥	0		0		0	0	0	0	0			0		
廃油	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸														
廃アルカリ	0		0		0	0		0	0					
廃プラスチック類	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0		
紙くず														
木くず	1		1		1	1	0	1	1			0		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	0	0	0		0	0		0	0	0	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0		0			
鉱さい														
がれき類	0		0		0	0		0	0	0				
動物のふん尿	577		577	64	513	513		513	513			64		
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0		0	0	0				

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千t/年)

C:鉱業	総発生量				排出量	発生量	減量化量	再資源化量		最終処分量	その他保管量	総減量化量		
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量				①' ②+③'	⑧'				⑬	⑫
				a										
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
燃え殻														
汚泥	0		0	0	0	0		0	0	0		0		
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0		
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	0		0		0	0	0	0	0	0		0		
紙くず														
木くず	0		0		0	0		0	0					
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	0	0	0		0	0		0	0					
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0					
鉱さい														
がれき類														
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
政令第十三号廃棄物														
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0				

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (2) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和6年度推計値)

[D:建設業、E:製造業]

(単位:千t/年)

D:建設業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量	
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量
								⑬	うち再生利用量 ⑫			
合計	3,004	22	2,982	5	2,978	2,999	430	2,503	2,481	66	1	435
燃え殻	0		0		0	0		0	0	0		
汚泥	826	2	824	5	820	822	400	414	412	7		405
廃油	2	0	2		2	2	1	1	1	0		1
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃プラスチック類	76	0	76		76	76	18	53	52	6		18
紙くず	24	0	24		24	24	1	23	23	0		1
木くず	142	2	140		140	142	7	132	130	2	0	7
繊維くず	5		5		5	5	0	4	4	0		0
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	29	5	24		24	29	0	28	23	1		0
ガラスくず・陶磁器くず	95	0	95		95	95		87	87	8	0	
鉱さい	0		0		0	0		0	0	0		
がれき類	1,771	12	1,759		1,759	1,771	2	1,737	1,725	31	1	2
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	0		0		0	0		0	0	0		
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	32	0	32		32	32		22	22	10		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千t/年)

E:製造業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量	
	①	有償物量 ②	総排出量 ③	うち脱水減量 a		①' ②+③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量
								⑬	うち再生利用量 ⑫			
合計	2,609	404	2,206	772	1,434	1,837	317	1,463	1,059	58	0	1,089
燃え殻	6		6		6	6	0	2	2	4		0
汚泥	982	20	962	714	248	269	87	172	151	9	0	801
廃油	71	6	65		65	71	40	27	21	4		40
廃酸	65	1	64		64	65	10	45	44	10	0	10
廃アルカリ	53	0	53		53	53	48	2	2	3		48
廃プラスチック類	249	32	217		217	249	59	176	144	14		59
紙くず	136	68	68		68	136	4	132	64	0		4
木くず	48	0	48		48	48	13	32	31	3	0	13
繊維くず	0		0		0	0	0	0	0	0		0
動植物性残さ	123	23	100	2	98	121	54	64	42	2		56
動物系固形不要物												
ゴムくず	0		0		0	0		0	0	0		
金属くず	321	233	89	0	89	321		321	88	1	0	0
ガラスくず・陶磁器くず	383	18	364	49	316	334		331	313	3		49
鉱さい	90	0	90		90	90		90	90	0		
がれき類	33		33		33	33		31	31	2		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	18	1	17		17	18		18	17	0		
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	31	0	31	8	23	23	1	21	21	2		8

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (3) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和6年度推計値)

[F:電気・ガス・水道業、G:情報通信業]

(単位:千t/年)

F:電気・ガス・水道業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他保管量	
			③	うち脱水減量 a				③-a	⑩			
合計	4,573	0	4,573	4,241	332	332	87	243	243	2	0	4,328
燃え殻	0		0		0	0		0	0	0		
汚泥	4,560		4,560	4,241	319	319	86	231	231	2	0	4,327
廃油	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃プラスチック類	1		1		1	1	1	0	0	0		1
紙くず												
木くず	0		0		0	0	0	0	0	0		0
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	7	0	7		7	7		7	7	0		
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0	0		
鉱さい												
がれき類	5		5		5	5		5	5	0		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	0	0	0		0	0		0	0	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千t/年)

G:情報通信業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量 ⑧ a+⑧'
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他保管量	
			③	うち脱水減量 a				③-a	⑩			
合計	1	1	0		0	1	0	1	0	0	0	0
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	0		0		0	0	0		0	0		0
紙くず	1	1	0		0	1	0	1	0	0	0	0
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず												
ガラスくず・陶磁器くず												
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (4) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和6年度推計値)

[H:運輸業、I:卸・小売業]

(単位:千t/年)

H:運輸業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量	
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他保管量		⑧
			③	うち脱水減量 a				③-a	①'				
合計	34	2	31		31	34	4	27	25	2	0	4	
燃え殻	0		0		0	0		0	0				
汚泥	1		1		1	1	1	0	0	0		1	
廃油	5	0	5		5	5	3	2	2	0		3	
廃酸													
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃プラスチック類	11	0	11		11	11	0	11	10	1	0	0	
紙くず													
木くず	6		6		6	6	0	5	5	1		0	
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず	0		0		0	0		0	0	0			
金属くず	3	2	1		1	3		3	1	0			
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0	0			
鉱さい													
がれき類	3		3		3	3		3	3				
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん													
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	3	0	3		3	3		3	3	0			

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千t/年)

I:卸・小売業	総発生量				排出量	発生量						総減量化量	
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪	その他保管量		⑧
			③	うち脱水減量 a				③-a	①'				
合計	136	29	107		107	136	10	112	83	14	0	10	
燃え殻	0		0		0	0		0	0				
汚泥	7	0	6		6	7	3	3	3	1	0	3	
廃油	16	10	7		7	16	2	13	3	1		2	
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0	
廃アルカリ	1		1		1	1	1	0	0	0		1	
廃プラスチック類	56	0	56		56	56	3	48	47	5		3	
紙くず													
木くず	2		2		2	2	0	2	2	0		0	
繊維くず													
動植物性残さ													
動物系固形不要物													
ゴムくず													
金属くず	34	16	18		18	34		32	16	2			
ガラスくず・陶磁器くず	6		6		6	6		5	5	1			
鉱さい													
がれき類	7		7		7	7		5	5	1			
動物のふん尿													
動物の死体													
ばいじん	0		0		0	0		0	0				
政令第十三号廃棄物													
その他(混合廃棄物)	8	3	5		5	8	0	5	2	2	0	0	

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (5) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和6年度推計値)

[K:物品賃貸業、L:学術研究、技術サービス業]

(単位:千t/年)

K:物品賃貸業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量	
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量
			③	うち脱水減量 a				③-a	①'			
合計	4	1	3		3	4	0	3	3	0		⑧ a+⑧'
燃え殻												
汚泥	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃油	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	0		0		0	0	0	0	0	0		0
紙くず												
木くず	1		1		1	1	0	1	1	0		0
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	1	1	1		1	1		1	1	0		
ガラスくず・陶磁器くず												
鉱さい	0		0		0	0		0	0			
がれき類	0		0		0	0		0	0	0		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	1		1		1	1		1	1	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位:千t/年)

L:学術研究、技術サービス業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量	
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量
			③	うち脱水減量 a				③-a	①'			
合計	10	0	9	0	9	10	4	4	3	2	0	⑧ a+⑧'
燃え殻												
汚泥	1		1	0	1	1	1	0	0	0		1
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃プラスチック類	2	0	2		2	2	1	1	1	0		1
紙くず												
木くず	0		0		0	0	0	0	0	0		0
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず	0		0		0	0				0		
金属くず	1	0	1		1	1		1	1	0		
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0	0		
鉱さい												
がれき類	1		1		1	1		1	1	0		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	0		0		0	0				0		
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	4	0	4		4	4	3	1	1	1		3

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (6) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和6年度推計値)

[M: 飲食業、N: 生活関連サービス業]

(単位: 千t/年)

M: 飲食業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量	
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量
			③	うち脱水減量 a				③-a	⑩			
合計	35	0	35		35	35	4	29	29	2		4
燃え殻	0		0		0	0		0	0			
汚泥	5		5		5	5	3	2	2	1		3
廃油	3		3		3	3	1	2	2			1
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	25		25		25	25	0	25	25	0		0
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	1	0	1		1	1		1	1	0		
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0	0		
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	1		1		1	1				1		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位: 千t/年)

N: 生活関連サービス業	総発生量				排出量	発生量					総減量化量	
	①	有償物量 ②	総排出量			③'	減量化量 ⑧'	再資源化量		最終処分量 ⑪		その他保管量
			③	うち脱水減量 a				③-a	⑩			
合計	10	0	10	0	9	9	4	3	3	2		5
燃え殻	0		0		0	0		0	0			
汚泥	8		8	0	7	7	4	2	2	1		5
廃油	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	1		1		1	1	0	1	1	0		0
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	0	0	0		0	0		0	0	0		
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0			
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	0		0		0	0		0	0	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-6 (7) 産業廃棄物の処理・処分状況 (令和6年度推計値)

[P:医療、R:サービス業 (他に分類されないもの)]

(単位: 千t/年)

P:医療	総発生量				排出量 ③'	発生量 ①'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	最終処分量 ⑪	その他 保管量	総減量化量 ⑧ a+⑧'	
	①	有償物 量 ②	総排出量 ③									
			うち脱水 減量 a	③-a								
合計	46	0	46		46	46	34	5	5	6	0	34
燃え殻	0		0		0	0				0		
汚泥	1		1		1	1	1	0	0	0		1
廃油	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0
廃酸	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃アルカリ	1		1		1	1	1	0	0	0		1
廃プラスチック類	6	0	6		6	6	3	3	3	0	0	3
紙くず												
木くず	0		0		0	0	0	0	0	0		0
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず	0		0		0	0				0		
金属くず	1	0	1		1	1		1	1	0	0	
ガラスくず・陶磁器くず	1	0	1		1	1		0	0	0		
鉱さい												
がれき類	0	0	0		0	0		0		0		
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	35	0	35		35	35	29	2	2	5		29

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

(単位: 千t/年)

R:サービス業 (他に分類され ないもの)	総発生量				排出量 ③'	発生量 ①'	減量化量 ⑧'	再資源化量 ⑬	最終処分量 ⑪	その他 保管量	総減量化量 ⑧ a+⑧'	
	①	有償物 量 ②	総排出量 ③									
			うち脱水 減量 a	③-a								
合計	22	3	20		20	22	2	19	16	2	0	2
燃え殻												
汚泥	1		1		1	1	0	0	0	0	0	0
廃油	3	1	2		2	3	1	2	1	0		1
廃酸												
廃アルカリ	0		0		0	0	0	0	0	0		0
廃プラスチック類	10	0	10		10	10	0	9	9	1		0
紙くず												
木くず	0		0		0	0		0	0	0		
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物	0		0		0	0	0	0	0	0		0
ゴムくず												
金属くず	7	1	7		7	7		7	6	1		
ガラスくず・陶磁器くず	0		0		0	0		0	0	0		
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
政令第十三号廃棄物												
その他(混合廃棄物)	1	0	1		1	1		1	1	0		

※四捨五入の関係上、合計値と合わない場合がある。

表2.2-7 産業廃棄物の処理・処分状況の経年変化

(単位：千t/年)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
①総発生量	11,521	11,139	11,423	10,959	11,062
②総排出量	10,937	10,543	10,777	10,512	10,601
③再資源化量	4,491	4,832	4,665	4,811	4,928
④減量化量	6,557	6,153	6,607	5,993	5,978
⑤最終処分量	143	153	150	155	156
(最終処分率)	1.3	1.4	1.4	1.5	1.5
⑥その他量	1	1	1	1	1

※最終処分率は、⑤÷②とした。(P16の最終処分率は、⑤÷①である。)

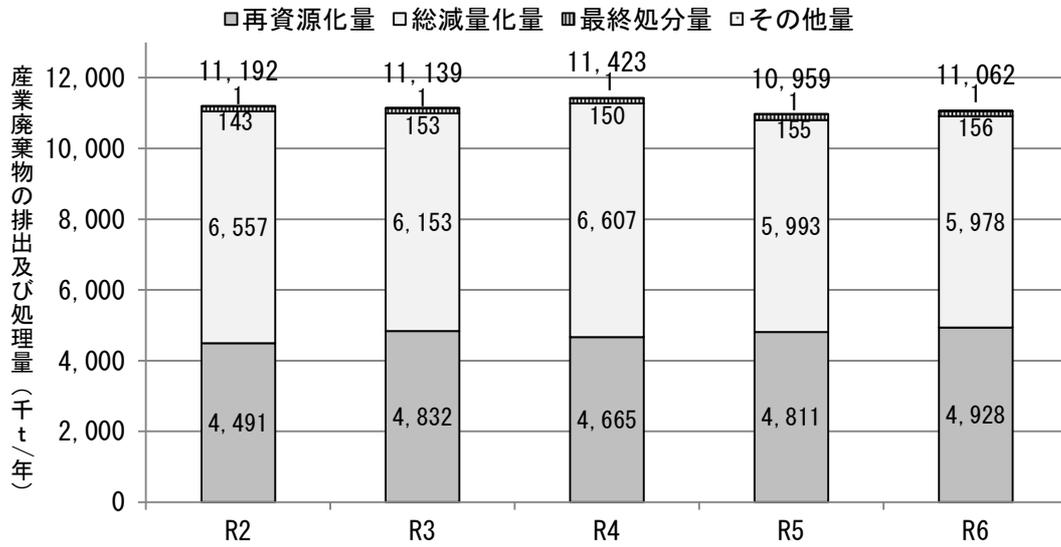


図2.2-5 産業廃棄物の処理・処分状況の経年変化

第3章 行政報告の入力、整理

3.1 産業廃棄物処分実績報告書、産業廃棄物処理計画実施状況報告書等データの入力、整理

(1) 電子化した項目

電子化した情報は、報告者名称（許可番号も含む）、委託者名、委託者事業種分類、委託者地域コード、種類、受託量、処分量、処分後量、処分方法、処分地域コード、処分後の委託内容等とした。

なお、電子化に当たっては、(2)に記す解析内容を行えるように考慮した。

表3.1-1 電子化した項目

報告書の内容	電子化する項目	数量
①様式19号（2） 〔産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処分実績報告書〕	①報告者名称（許可番号も含む）②委託者名（特別管理産業廃棄物に限る）③委託者事業種分類 ④委託者地域コード ⑤種類 ⑥受託量 ⑦処分量 ⑧処分後量 ⑨処分方法 ⑩処分地域コード ⑪処分後の委託内容 等	入力件数：242件 データ数：744,001レコード [*] (電子データ含む)
②様式2号の9 ③様式2号の14 ④様式4号 ⑤様式4号の2 〔産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処理計画実施状況報告書〕	①報告者名称 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④事業の種類 ⑤発生量の目標 ⑥計画の実施状況（発生量、自己直接再生利用量等）等	(合計) 入力件数：495件 データ数：3,198レコード [*]

※1 ①様式19号（2）の⑤種類について、報告書の記入欄にカッコ書きで「含石綿」と記入されたものは、石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）であり、これを分けるように区別して入力した。

(2) 解析項目

電子化したデータについては、以下の項目に従って解析を実施した。

表3.1-2 解析項目

解析内容	解析情報
①県内産業廃棄物処理施設での品目別、処理方法別処理量	様式19号（2）により整理
②産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量 ※石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）を区別	〃
③特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量	〃
④産業廃棄物の県内処分業者の品目別中間処分量	〃
⑤産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量	〃
⑥特別管理産業廃棄物の県内処分業者の品目別中間処分量	〃
⑦特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量	〃
⑧多量排出事業者の発生量及び処理状況	様式第2号の9、様式第2号の14、様式4号及び様式第4号の2により整理

※1 石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト廃棄物）の運搬量は処理実績報告書から把握した。

※2 報告者数は、名称から組合せを行い整理した。

※3 廃棄物等量のうち、数量が容積等の場合は、品目別重量換算係数を用いて単位をtに統一した。

(3) 整理結果

① 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）処分実績報告書（以下、「実績報告書」とする。）

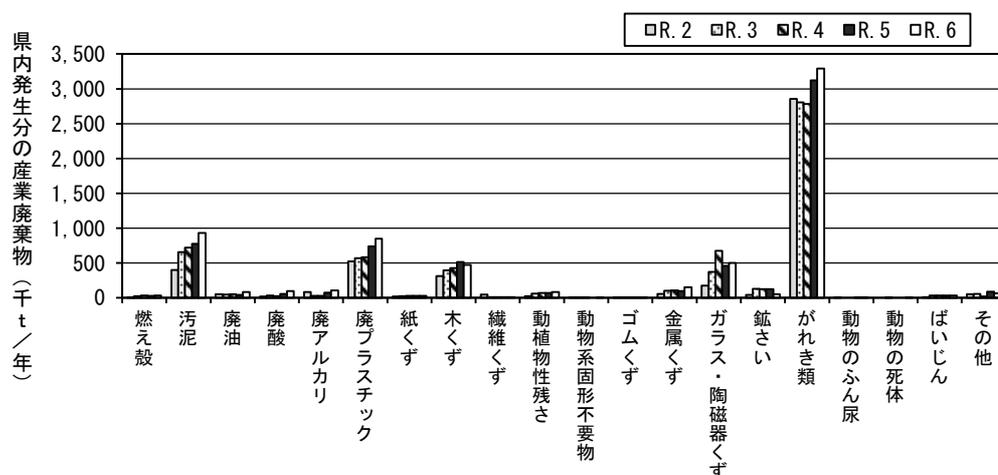
実績報告書（さいたま市、川越市、川口市、越谷市含む）から整理した埼玉県内排出量（令和6年度実績）を整理した結果は、表3.1-3、図3.1-1に示すとおりである。併せて、過年度からの経年変化を示している。また、各種行政報告では、廃棄物の数量をt又はm³で記入することになっている。m³で記入された数量を表3.1-4に示す換算係数を用いて重量（t）に換算した。

埼玉県内排出量（令和6年度実績）は、令和5年度と比較し約8%増加している。

表3.1-3 実績報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

（単位：t/年）

実績年度	R.2	R.3	R.4	R.5	R.6
合計	4,699,996	5,363,975	5,733,285	6,281,186	6,808,029
燃え殻	6,134	25,053	35,044	30,721	34,638
汚泥	400,142	656,761	720,428	773,417	930,873
廃油	53,953	47,207	53,989	42,484	82,579
廃酸	23,047	34,685	25,051	60,123	100,372
廃アルカリ	83,780	29,177	30,875	76,150	105,827
廃プラスチック類	524,617	569,447	580,695	743,333	849,310
紙くず	23,291	26,345	30,711	29,344	30,719
木くず	311,470	397,074	425,644	515,895	474,996
繊維くず	49,840	7,489	8,501	7,549	11,151
動植物性残さ	24,031	62,802	69,248	68,639	83,025
動物系固形不要物	107	1,225	1,153	0	812
ゴムくず	190	40	78	87	1,055
金属くず	58,417	103,143	108,180	100,445	153,785
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	178,823	375,404	674,846	457,724	502,125
鉱さい	42,321	130,708	127,034	128,231	54,670
がれき類	2,857,422	2,803,837	2,786,054	3,125,328	3,291,562
動物のふん尿	5	0	0	9	171
動物の死体	1	2	1	1	4
ばいじん	7,497	33,338	35,531	34,975	33,469
その他（混合廃棄物など）	54,908	60,240	20,222	86,732	66,885



注）全年度、埼玉県、さいたま市、川越市、川口市、越谷市のデータとなっている。

図3.1-1 実績報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

表3.1-4 品目別重量換算係数

Code	廃棄物種類	換算係数 (t/m ³)	Code	廃棄物種類	換算係数 (t/m ³)	
1	燃え殻	1.14	B1	廃油	0.90	
2	汚泥	1.10	B2	廃酸	1.25	
3	廃油	0.90	B3	廃アルカリ	1.13	
4	廃酸	1.25	B4	感染性廃棄物	0.30	
5	廃アルカリ	1.13	特別管理産業廃棄物 特定有害産業廃棄物	C1	廃PCB等	1.00
6	廃プラスチック類	0.35		C2	廃PCB汚染物	1.00
7	紙くず	0.30		C3	廃PCB処理物	1.00
8	木くず	0.55		C4	指定下水汚泥等	1.10
9	繊維くず	0.12		D2	鉱さい	1.93
10	動植物性残さ	1.00		D3	廃石綿等	0.30
11	動物系固形不要物	1.00		D4	ばいじん	1.26
12	ゴムくず	0.52		D5	燃え殻	1.14
13	金属くず	1.13		D6	廃油	0.90
14	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1.00		D7	汚泥	1.10
15	鉱さい	1.93	D8	廃酸	1.25	
16	がれき類	1.48	D9	廃アルカリ	1.13	
17	動物のふん尿	1.00	D10	廃水銀等	13.57	
18	動物の死体	1.00				
19	ばいじん	1.26				
20	政令第十三号廃棄物	1.00				

※廃棄物量のうち、数量が容積の場合は品目別重量換算係数を用い、単位を t に統一した。

② 産業廃棄物処理計画実施状況報告書（以下、「多量排出報告書」とする。）

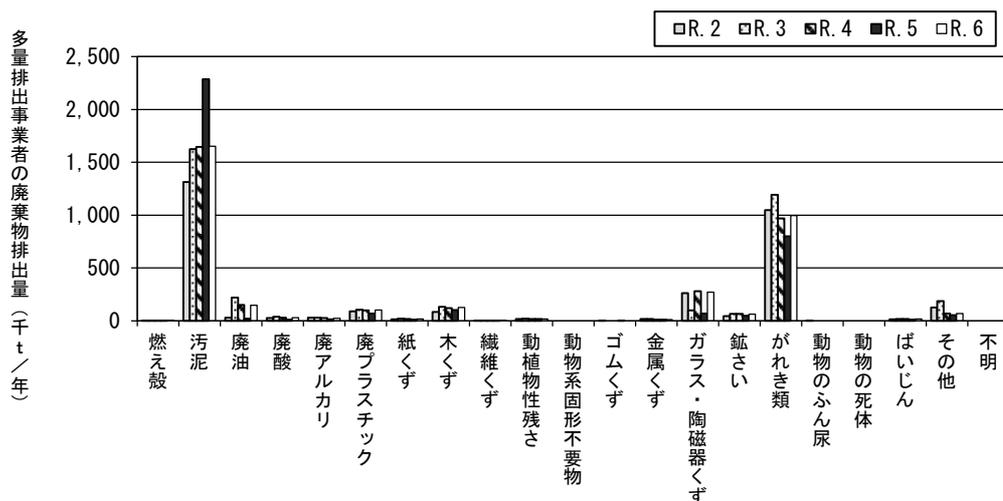
多量排出報告書から整理した排出量（令和6年度実績）の結果は、表3.1-5、図3.1-2に示すとおりである。併せて、過年度からの経年変化を示している。

埼玉県内（川口市、越谷市を除く）排出量（令和6年度実績）は、令和5年度と比較し約0.9%増加している。

表3.1-5 多量排出報告書から整理した排出量（実績）

（単位：t/年）

実績年度	R.2	R.3	R.4	R.5	R.6
合計	3,128,387	3,775,000	3,524,488	3,524,041	3,554,416
燃え殻	2,132	245	451	345	519
汚泥	1,312,589	1,621,149	1,644,082	2,282,144	1,649,408
廃油	28,913	219,466	149,254	22,218	147,277
廃酸	25,590	38,781	29,798	12,626	30,131
廃アルカリ	28,980	28,234	25,884	16,237	24,978
廃プラスチック類	90,710	106,870	101,478	67,069	102,825
紙くず	15,795	20,695	17,983	13,128	18,062
木くず	85,276	134,235	118,782	102,265	127,986
繊維くず	689	1,269	836	742	874
動植物性残さ	18,577	21,051	18,686	18,234	18,613
動物系固形不要物					
ゴムくず	175			21	
金属くず	19,606	17,509	12,992	11,125	13,206
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	261,800	98,561	280,089	66,643	269,842
銻さい	47,187	65,518	64,450	47,353	62,316
がれき類	1,047,187	1,192,615	970,477	799,118	997,454
動物のふん尿	2				
動物の死体					
ばいじん	16,722	19,606	19,723	11,050	19,727
その他（混合廃棄物など）	126,456	189,197	69,525	53,723	71,200
不明					



注) 令和2年度、令和4年度、令和5年度、令和6年度は川口市、越谷市を除くデータ、令和3年度は川口市を除くデータとなっている。

図3.1-2 多量排出報告書から整理した排出量（実績）

3.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書データの入力、整理

(1) 電子化する項目

電子化する情報は、産業廃棄物管理票交付等状況報告書（様式第3号、以下「マニフェスト報告書」とする。）に基づき、報告者（住所、氏名）、業種、事業場の所在地（市町村）、廃棄物の種類、排出量（t）、管理票の交付枚数等とした。

表3.2-1 電子化する項目

電子化する項目	数 量
①報告者（住所、氏名） ②業種 ③事業場の所在地（市町村） ④廃棄物の種類 ⑤排出量（t） ⑥管理票の交付枚数 ⑦運搬受託者の許可番号 ⑧運搬受託者の氏名又は名称 ⑨運搬先の住所（都道府県市町村） ⑩処分受託者の許可番号 ⑪処分受託者の氏名又は名称 ⑫処分場所の住所（都道府県市町村） ⑬環境管理事務所	様式第3号 入力件数：16,224件 データ数：34,935レコード （電子マニフェスト： 73,892レコード）

※1 電子マニフェスト登録状況報告のデータもあわせて整理した。

(2) 一覧表の作成

電子化したデータについては、以下の項目に従って解析を実施した。

表3.2-2 解析内容

解 析 内 容	解析情報
①マニフェスト報告書の報告状況	マニフェスト報告書（様式第3号）
②産業廃棄物の種類別・業種別の交付枚数、排出状況	
③産業廃棄物の地域間移動状況	

(3) 整理結果

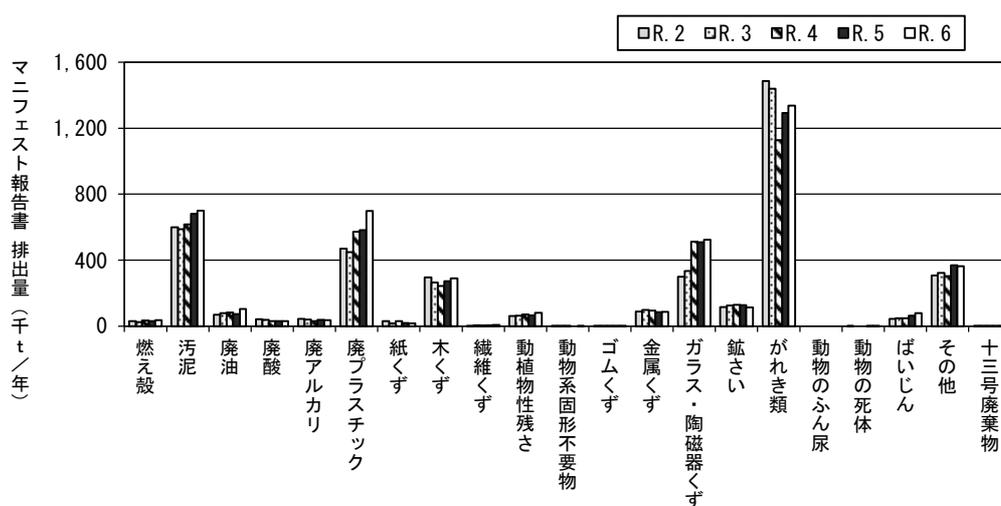
マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（令和6年度実績）の結果は、表3.2-3、図3.2-1に示すとおりである。（詳細は、別冊「令和7年度 埼玉県産業廃棄物管理票交付等状況報告書 業務報告書」に示す。）併せて、過年度からの経年変化を示している。

埼玉県内（さいたま市、川越市、川口市、越谷市を除く）排出量（令和6年度実績）は、令和5年度と比較し約6.2%増加している。

表3.2-3 マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

（単位：t/年）

実績年度	R.2	R.3	R.4	R.5	R.6
合計	3,992,310	3,944,568	3,939,110	4,249,803	4,514,094
燃え殻	30,544	25,703	35,980	32,113	36,893
汚泥	599,473	587,217	617,132	681,686	701,212
廃油	69,803	79,666	81,858	74,189	105,641
廃酸	42,345	38,996	32,072	29,505	31,698
廃アルカリ	43,956	41,287	31,903	39,277	37,554
廃プラスチック類	469,371	448,391	572,435	583,628	699,064
紙くず	30,364	17,429	30,464	20,086	18,339
木くず	296,775	264,150	243,396	272,925	290,715
繊維くず	3,300	5,631	4,249	6,176	7,495
動植物性残さ	61,591	64,062	71,856	64,362	79,961
動物系固形不要物	1,021	1,326	1,351		812
ゴムくず	56	57	50	38	241
金属くず	89,979	98,798	94,142	85,195	87,920
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	299,395	335,054	513,773	508,255	523,712
鉱さい	117,344	125,771	129,694	127,795	113,794
がれき類	1,483,800	1,438,987	1,128,508	1,290,873	1,336,139
動物のふん尿					
動物の死体	77			2	3
ばいじん	43,909	46,873	47,075	63,923	79,501
その他（混合廃棄物など）	309,169	324,489	302,311	369,111	363,373
政令第十三号廃棄物	39	681	861	664	27



注) 全年度さいたま市、川越市、川口市、越谷市を除くデータとなっている。

図3.2-1 マニフェスト報告書から整理した埼玉県内排出量（実績）

資 料 編

留意点

資料編においては、県へ報告された実績報告書の内容について整理したものであり、さいたま市、川越市、川口市及び越谷市は県外として取り扱っている。

1. 県内産業廃棄物処理施設での品目別及び処理方法別の処分量

(1) 県内産業廃棄物処理施設での品目別処分量

県内における産業廃棄物処理実績（令和6年度実績）を整理すると図-1、表-1のとおりである。

年間処分量は7,817千tであり、品目別ではがれき類が2,999千tで最も多く、次いで汚泥が2,434千tとなっている。

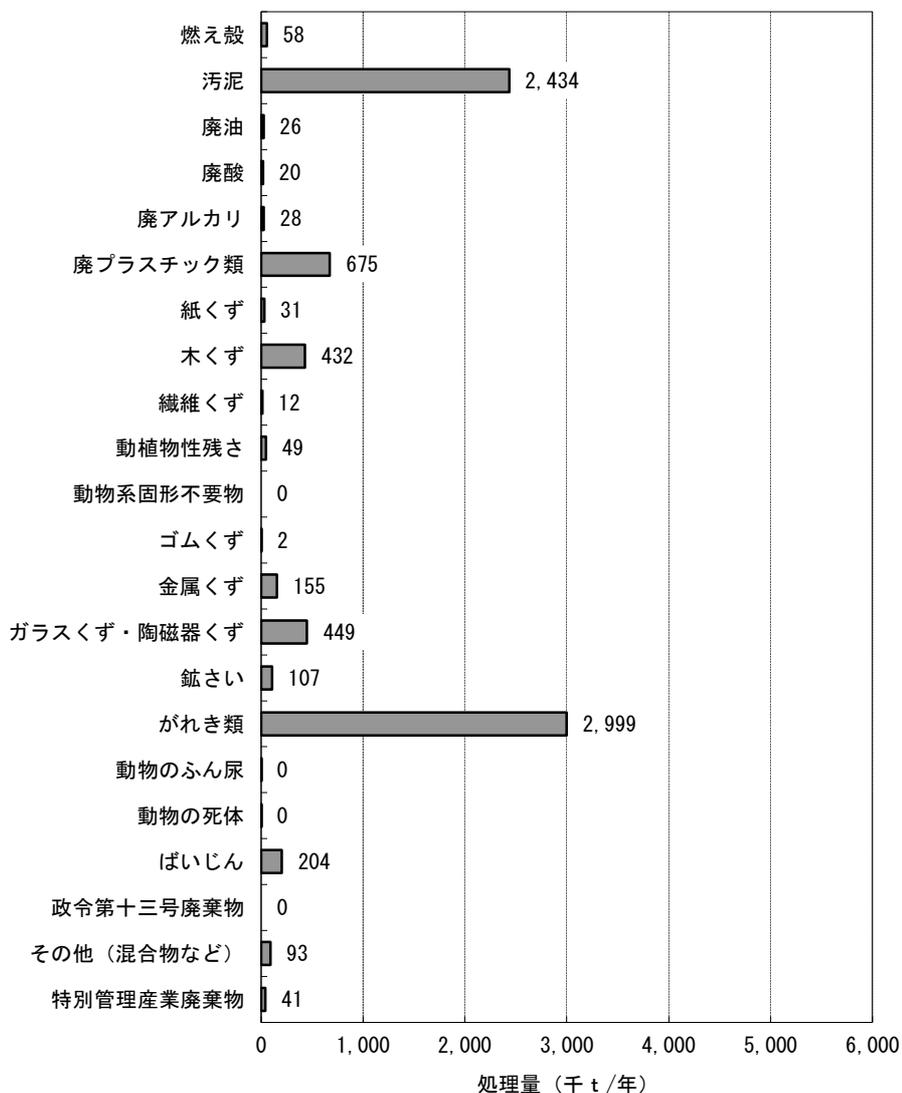


図-1 県内産業廃棄物処理施設での品目別処理量

表-1 県内産業廃棄物処理施設での品目別処理量

(単位：t/年)

種類	区分	処理量		
			中間処理	最終処分
産業廃棄物	燃え殻	57,861	55,867	1,995
	汚泥	2,434,494	2,434,494	
	廃油	25,673	25,673	
	廃酸	20,313	20,313	
	廃アルカリ	27,751	27,751	
	廃プラスチック類	675,336	667,478	7,858
	紙くず	31,132	31,132	
	木くず	431,944	431,944	
	繊維くず	12,480	12,480	
	動植物性残さ	48,512	48,512	
	動物系固形不要物	0	0	
	ゴムくず	2,451	2,451	
	金属くず	155,472	155,470	3
	ガラス・陶磁器くず	449,481	449,113	368
	鉱さい	107,395	107,395	
	がれき類	2,998,737	2,998,728	9
	動物のふん尿	175	175	
	動物の死体	4	4	
	ばいじん	203,512	203,512	
	政令第十三号廃棄物 その他（混合物など）	93,231	93,190	42
小計	7,775,954	7,765,680	10,274	
特別管理産業廃棄物	廃油	8,606	8,606	
	廃酸	3,008	3,008	
	廃アルカリ	455	455	
	感染性廃棄物	28,699	28,699	
	特定有害産業廃棄物			
	廃PCB等			
	廃PCB汚染物			
	廃PCB処理物			
	指定下水汚泥等			
	鉱さい			
	廃石綿等			
	ばいじん			
	燃え殻			
	廃油	61	61	
	汚泥	6	6	
	廃酸	82	82	
	廃アルカリ			
廃水銀等				
その他				
小計	40,917	40,917		
合計	7,816,871	7,806,597	10,274	

(2) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処分量

県内における産業廃棄物処理実績（令和6年度実績）を品目別・処理方法別に整理すると図-2、表-2(1)～(4)の通りである。

① 中間処理量

県内における中間処理量7,807千tを処理方法別に整理すると図-2のとおりであり、破碎系（選別、圧縮、梱包等を含む）が最も多く、次いで固形化、焼成、脱水系となっている。

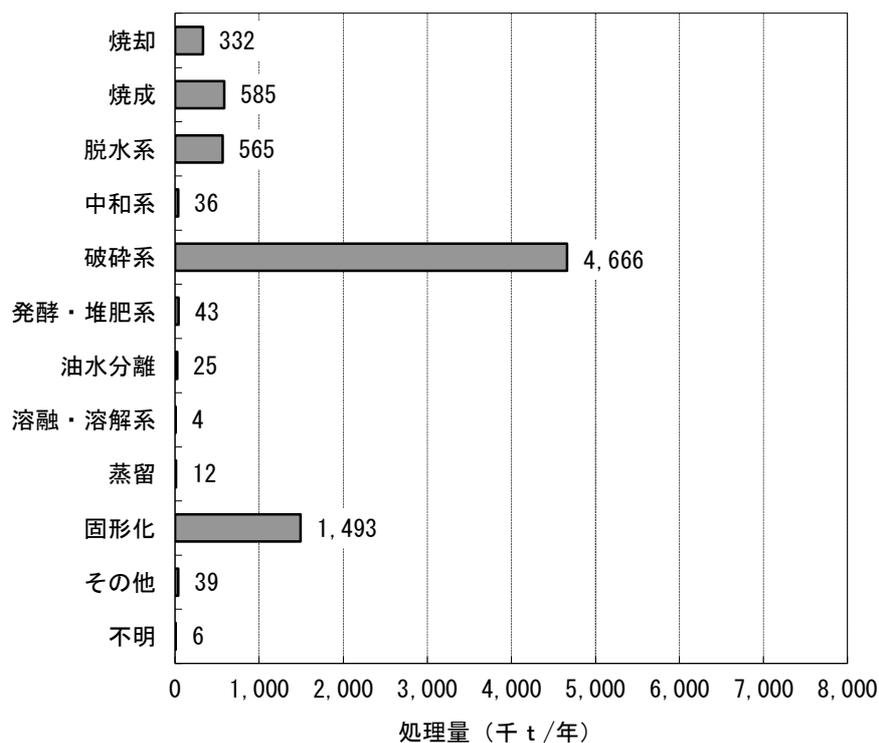


図-2 処理方法別中間処理量

② 最終処分量

県内における最終処分量は10千tとなっており、その約76%が廃プラスチック類である。

表-2 (1) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位: t/年)

処理方法 廃棄物種類	合計	01: 焼却				02: 焼成		03: 脱水系					小計
		焼却	焼却・溶融	蒸留・焼却	脱水・焼却	小計	焼成	乾燥	凝集沈殿・脱水	高度脱水	脱水	脱水固化	
合計	7,816,871	269,567	61,327	1,271	0	332,165	584,920	22,193	81,989	0	458,815	2,474	565,471
燃え殻	57,861	0	697	0	0	697	53,919	0	0	0	0	0	0
汚泥	2,434,494	70,496	15,273	0	0	85,770	245,222	15,903	81,984	0	458,754	2,474	559,116
廃油	25,673	4,924	627	0	0	5,550	0	0	5	0	0	0	5
廃酸	20,313	4,869	122	0	0	4,991	0	890	0	0	0	0	890
廃アルカリ	27,751	6,438	21	0	0	6,459	0	121	0	0	0	0	121
廃プラスチック類	675,336	124,873	40,143	0	0	165,016	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	31,132	3,183	25	0	0	3,208	0	0	0	0	0	0	0
木くず	431,944	9,852	5	0	0	9,856	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	12,480	360	0	0	0	360	0	0	0	0	0	0	0
産業動植物性残さ	48,512	13,200	3,649	0	0	16,849	0	5,263	0	0	61	0	5,325
廃動物系固形不燃物	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	16
ゴムくず	2,451	2,173	0	0	0	2,173	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	155,472	0	20	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	449,481	0	743	0	0	743	18,407	0	0	0	0	0	18,407
珪さい	107,395	0	0	0	0	0	53,652	0	0	0	0	0	53,652
がれき類	2,998,737	0	2	0	0	2	10,420	0	0	0	0	0	10,420
動物のふん尿	175	7	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	203,512	0	0	0	0	0	203,300	0	0	0	0	0	203,300
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	93,231	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	8,606	420	0	1,271	0	1,691	0	0	0	0	0	0	1,691
強酸	3,008	32	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	32
強アルカリ	455	23	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	23
感染性廃棄物	28,699	28,699	0	0	0	28,699	0	0	0	0	0	0	28,699
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有害鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	61	12	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12
廃汚泥	6	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
廃酸	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-2 (2) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位: t/年)

処理方法 廃棄物種類	04: 中和系				05: 破砕系							選別		
	中和	中和・ 高温酸化	中和・ 脱水	小計	圧縮	圧縮・ 減容	圧縮・ 梱包	圧縮・ 梱包・ 溶融・ 破	減容	梱包	切断		切断・ 圧縮	切断・ 破砕
	19,754	8,406	7,975	36,085	128,192	1	80,229	3,697	698	0	16,588		67,529	1,529
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃油	7	0	0	7	145	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	5,251	3,048	6,086	14,385	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	13,466	5,358	1,839	20,663	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	0	0	0	0	108,159	0	65,143	3,697	698	0	6,669	10	80	
紙くず	0	0	0	0	523	0	12,537	0	0	0	0	0	0	
木くず	2	0	0	2	15	1	41	0	0	0	2,215	0	0	
繊維くず	0	0	0	0	333	0	1,288	0	0	0	31	0	0	
動物性残渣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴミくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	1	0	0	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属・陶磁器くず	0	0	0	0	18,604	0	1,217	0	0	0	7,607	67,482	1,447	
ガラス	0	0	0	0	300	0	3	0	0	0	59	3	2	
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	0	
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(混合物等)	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	28	0	
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
強酸	514	0	0	514	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
強アルカリ	431	0	0	431	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃PCB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有害鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	82	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表-2 (3) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位：t/年)

処理方法 廃棄物種類	05：破碎系										06：発酵・堆肥系		07：油水分離	
	破碎	破碎・圧縮	破碎・圧縮・梱包	破碎・減容	破碎・縮減・梱包・圧	破碎・混合	破碎・再生	破碎・選別	破碎・造粒・成型	小計	発酵	小計	油水分離	小計
合計	4,219,432	2,072	95,457	45,714	22	3,649	231	312	536	4,665,890	42,868	42,868	25,004	25,004
燃え殻	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0
汚泥	3,876	0	0	559	0	0	0	0	0	4,435	16,478	16,478	11,003	11,003
廃油	0	0	3	0	0	0	0	0	0	155	0	0	13,903	13,903
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	0	1	1
廃アルカリ	79	0	0	0	0	0	0	0	0	80	0	0	7	7
廃プラスチック類	204,935	409	79,881	26,204	0	0	0	38	0	495,923	0	0	0	0
紙くず	10,423	0	3,672	657	0	0	0	0	0	27,812	11	11	0	0
木くず	406,533	0	1,532	11,442	17	0	231	0	0	422,027	0	0	0	0
産廃	6,304	0	22	490	3	3,649	0	0	0	12,120	0	0	0	0
動物性残渣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,325	26,325	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物	213	0	0	0	0	0	0	0	0	262	0	0	0	0
金属くず	48,586	1,653	1,831	5,544	2	0	0	96	0	154,068	0	0	36	36
ガラス・陶磁器くず	425,163	9	604	818	0	0	0	179	0	427,141	0	0	0	0
鉱さい	53,197	0	0	0	0	0	0	0	536	53,733	0	0	0	0
がれき類	2,967,008	1	7,893	0	0	0	0	0	0	2,974,909	0	0	0	0
動物のふん尿	159	0	0	0	0	0	0	0	0	159	9	9	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令第十三号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	92,946	0	20	0	0	0	0	0	0	93,055	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	54
強酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有害鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産廃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石膏等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-2 (4) 県内産業廃棄物処理施設での品別・処理方法別処理量

(単位：t/年)

処理方法 廃棄物種類	08：溶融・溶解系				09：蒸留		10：固形化				11：その他	
	加熱	熱分解	溶融	溶融減容	蒸留	小計	コンクリート固	セメント固	混練固	造粒固	ろ過	加水（混練）
合計	353	0	319	2,910	3,583	12,492	12,492	18,708	0	1,473,393	0	2,608
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	58
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	17,537	0	1,473,393	0	2,328
廃油	339	0	0	0	339	5,542	5,542	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	0	0	237	2,910	3,148	39	4	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物	14	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0
動物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	82	0	82	0	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	212
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	6,861	0	0	0	0	0	0
強酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有害鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
廃汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表-2 (5) 県内産業廃棄物処理施設での品目別・処理方法別処理量

(単位: t/年)

処理方法	11: その他							小計	15: 中間処理不明	21: 埋立	30: 売却
	混合	再生	煮沸	水銀加熱	調質改良	濃縮	分解・精製				
廃棄物種類	149	16,416	0	848	18,714	455	0	39,190	6,310	10,274	0
合計											
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	58	0	1,995	0
汚泥	0	0	0	0	18,714	0	0	21,042	0	0	0
廃油	147	0	0	0	0	24	0	171	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	421	0	421	0	0	0
廃プラスチック類	0	860	0	9	0	0	0	869	2,479	7,858	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	101	0	0
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃動物系固形不燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃動物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	2	1,185	0	9	0	10	0	1,206	56	3	0
ガラス・陶磁器くず	0	10	0	830	0	0	0	839	1,982	368	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0
がれき類	0	11,999	0	0	0	0	0	11,999	1,498	9	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	212	0	0	0
政令第13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(混合物等)	0	1	0	0	0	0	0	1	134	42	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強酸	0	2,462	0	0	0	0	0	2,462	0	0	0
強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃POB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃POB汚染物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃POB処理物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量（県内処分量、県外運搬量）

県内の特別管理産業廃棄物について、マニフェスト報告書から算出した年間排出量を整理すると図-3、表-3のとおりである。

排出量は102千tであり、品目別では感染性廃棄物が最も多く、次いでばいじんとなっている。

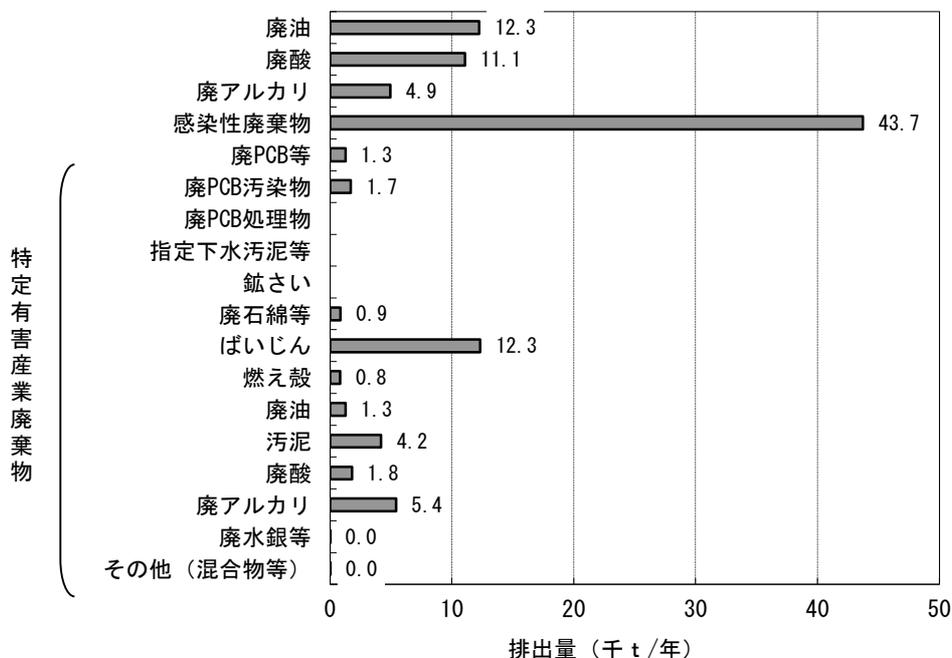


図-3 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量

表-3 特別管理産業廃棄物の県内事業場からの品目別排出量、県内処分量、県外運搬量
(単位：t/年)

		排出量	県内処分量	県外運搬量
合 計		101,800	39,787	62,012
特別管理産業廃棄物	廃油	12,264	3,543	8,721
	廃酸	11,077	5,167	5,910
	廃アルカリ	4,949	3,070	1,879
	感染性廃棄物	43,746	26,208	17,538
	廃PCB等	1,272		1,272
	廃PCB汚染物	1,705		1,705
	廃PCB処理物			
	指定下水汚泥等			
	鉱さい			
	廃石綿等	874	20	855
	ばいじん	12,335		12,335
	燃え殻	842		842
	廃油	1,281	130	1,150
	汚泥	4,194	25	4,168
	廃酸	1,806	813	993
	廃アルカリ	5,416	799	4,618
	廃水銀等	0	0	0
その他（混合物等）	38	11	27	

3. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量

(1) 県外から県内への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県外から県内への運搬量を整理すると図-4、表-4のとおりである。

県外から県内への運搬量は5,193千tであり、品目別では汚泥が最も多く、運搬元では東京都が最も多くなっている。

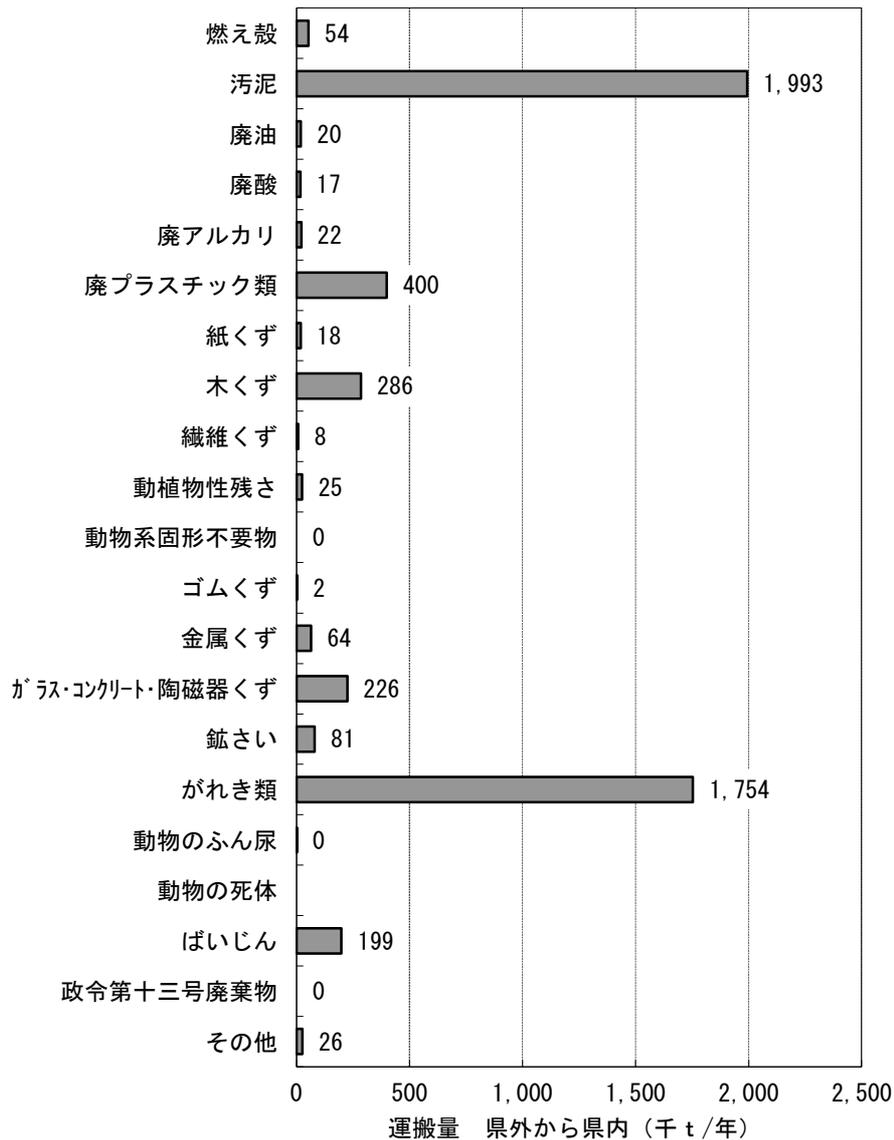


図-4 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県外から県内へ品目別運搬量

(2) 県内から県外への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県内から県外への運搬量を整理すると図-5、表-5のとおりである。

県内から県外への運搬量は2,165千tであり、品目別ではがれき類が最も多く、運搬先では栃木県が最も多くなっている。

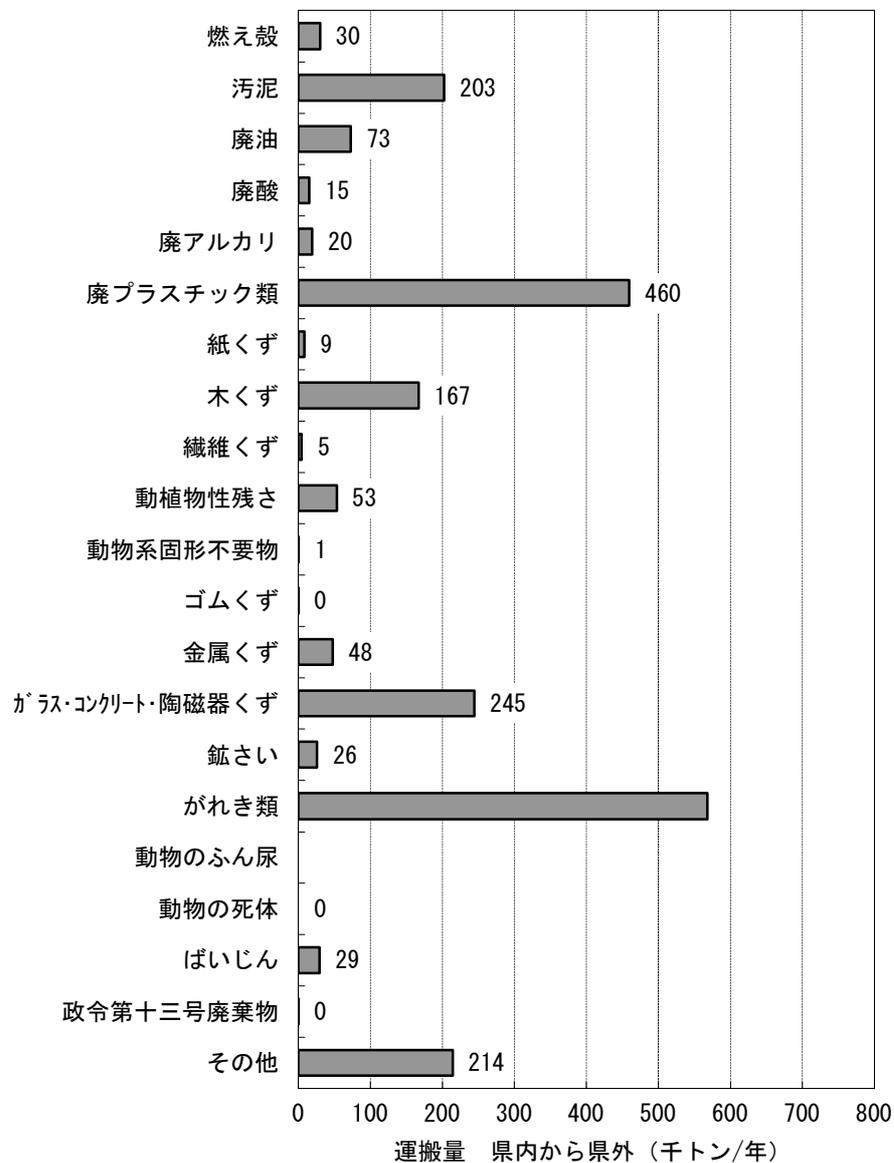


図-5 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県外へ品目別運搬量

(3) 県内から県内への品目別運搬量

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）について県内から県内への運搬量を整理すると図-6、表-6のとおりである。

県内から県内への運搬量は2,583千tであり、品目別ではがれき類が最も多くなっている。

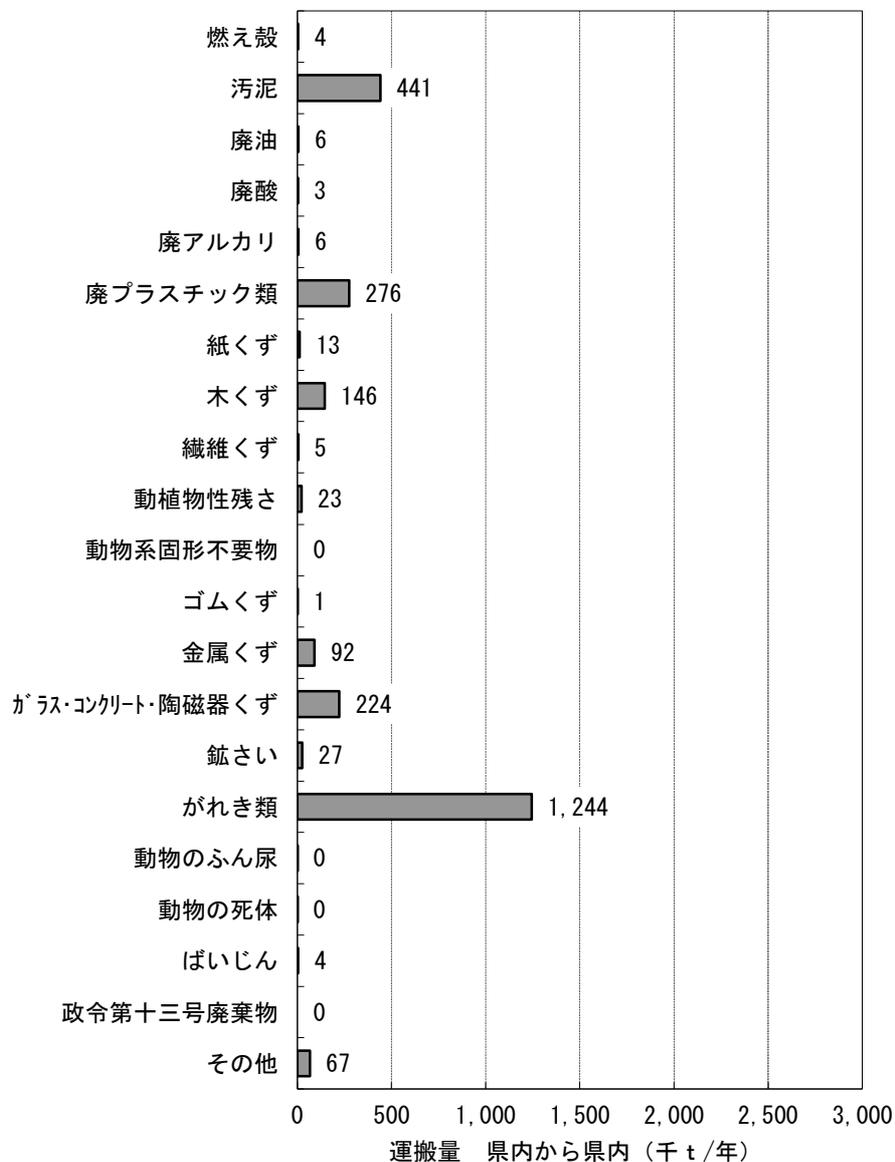


図-6 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県内へ品目別運搬量

表-5 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県外への品目別運搬量

(単位：t/年)

運搬先	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	アルカリ	プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不変物	ゴムくず	金属くず	リサイクル品	磁器	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第13号廃棄物	その他	
北海道	412	0	0	0	0	0	73	35							0	34						269	
青森県	322	58					100																90
岩手県	3,881	1					3,793																66
宮城県	42,665	4,015	14,021	19	0	0	4,640	23	52					40	1,619	250	250			4,922	27	13,035	
秋田県	8,647	2					473																7,739
山形県	4,607	1					1,806																2,021
福島県	37,373	4,619	3,449	430	16	64	6,733	0	8,170	67	185			56	3,932	982	36			2,488		5,305	
茨城県	270,930	7,066	16,963	3,593	3,061	2,775	30,373	1,174	28,192	2,518	10,305			1,290	17,707	4,320	114,112			2,438		25,043	
栃木県	318,012	2,824	17,651	9,246	984	4,479	47,392	1,329	6,078	886	12,253			1,614	90,567	3,756	86,841			2,319		29,793	
群馬県	230,498	1,755	12,855	29,969	505	192	26,188	373	53,475	28	5,004		4	2,466	11,233	55	71,230			26		16,721	
千葉県	265,083	3,943	41,117	2,666	2,085	6,790	27,862	1,516	34,939	492	8,413			3,884	35,253	12,519	44,731			7,396		31,506	
東京都	296,044	444	43,234	21,802	61	220	102,078	2,061	14,999	73	12,056	812		13	9,040	10,829	50,725			701		27,195	
神奈川県	70,913	1,675	8,947	705	5,127	720	8,758	175	2,355	19	3,583			4	4,961	3,441	11,452			1,874		12,968	
新潟県	14,175	6	226	2	69	239	7,463	507						6	5		496						5,156
富山県	8,543	832	295	215	144	18	2,728	360	167	205			167	336	240	13	167			707		1,949	
石川県	7																						
福井県	167								2														
山梨県	8,159	610	9	1	716		637		757		148			5	85	777				2,676		161	
長野県	9,654	1,494	56		612	340	1,488	46	120	0	212			20	198	1,102						1,738	
岐阜県	574	12					22																3,965
静岡県	26,389	941	4,559				7,685	1	888	1	45			11	775	155	3,294			1,694		371	
愛知県	5,665	110	420	146	0	14	426	24	24					21	1	4,038						465	
三重県	9,162	68	2,096	9	9	25	15	8	8	482					453	1,210						4,788	
滋賀県	574			3			69								21		31						450
京都府	4,885						4,600									55							
大阪府	799		89	4			1							18									688
兵庫県	4,907	2	1,051	21	15	1	216	0	6					24	192							3,380	
奈良県	5,671	2,822	1,172	33	1	1	39		1											1,568		25	
和歌山県	1,554						869																685
鳥取県	604		29	291	5		272																8
島根県	548		28	75			4																441
岡山県	2,535		66				1,832		7														630
広島県	19,479	121	6,844	470		0	8,892													268			2,703
山口県	73		5				56								3	7				73		0	
徳島県																							
香川県																							
愛媛県	0																						0
高知県	87			87																			
福岡県	1,046		29	215	14	8	696																
佐賀県	1		1																				
熊本県																							
宮崎県	336						238	14			1												85
鹿児島県	4						2																
沖縄県																							
さいたま市	105,809	9,451	1,795		1,209	342	13,095	54	3,592	16	168			6,294	8,688	57,342						3,764	
川崎市	304,808	6,869	756		7	147,499	680	6,192	45	857				1,852	51,204	84,576						4,270	
川崎市	20,709	5,920			717	2,710	549	248	1,668	4				270	644	7,290						691	
越谷市	56,365	3,615					70		5,793					15,577	5,967	27,312						31	
県内一県外	2,164,760	30,292	202,509	72,675	15,325	19,562	459,726	8,804	167,187	4,836	53,229	812	188	47,796	244,622	26,005	567,889			29,151	27	214,325	

表-6 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県内から県内への品目別運搬量

(単位：t/年)

		産業廃棄物														その他							
県内一県内	合計	2,583,072	4,357	441,388	6,049	3,287	6,116	275,805	12,783	146,427	4,942	23,494		867	91,510	223,763	26,595	1,244,338	171	4	4,318	66,858	
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	リサイクル品 （プラスチック、陶磁器、ガラス）	磁さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第十三号廃棄物	

4. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、運搬先別、品目別運搬量

(1) 県外から県内への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県外から県内への運搬量を整理すると図-7、表-7のとおりである。運搬量の総量は28千tであり、品目別では感染性廃棄物が最も多く、運搬元では東京都が最も多くなっている。

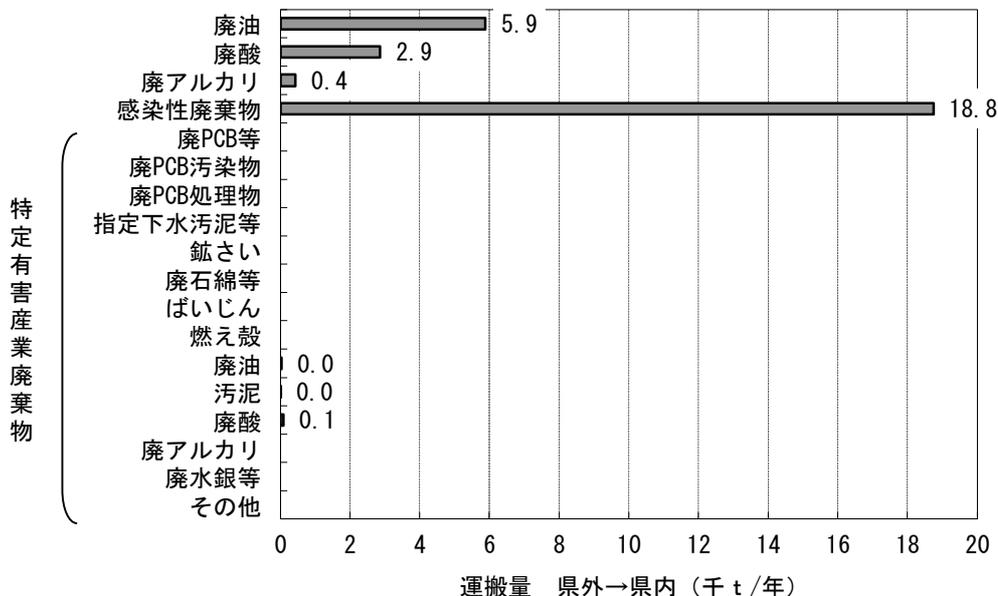


図-7 特別管理産業廃棄物の県外から県内への品目別運搬量

(2) 県内から県外への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県内から県外への運搬量を整理すると図-8、表-8のとおりである。運搬量の総量は71千tであり、品目別では感染性廃棄物が最も多く、運搬先では群馬県が最も多くなっている。

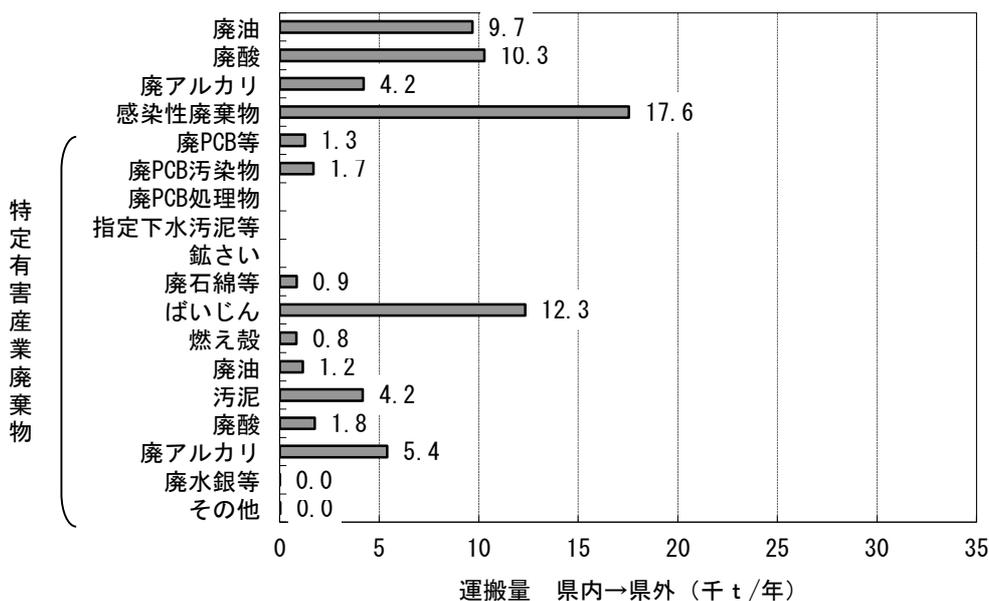


図-8 特別管理産業廃棄物の県内から県外への品目別運搬量

(3) 県内から県内への品目別運搬量

特別管理産業廃棄物について県内から県内への運搬量を整理すると図-9、表-9のとおりである。運搬量の総量は13千tであり、品目別では感染性廃棄物が最も多くなっている。

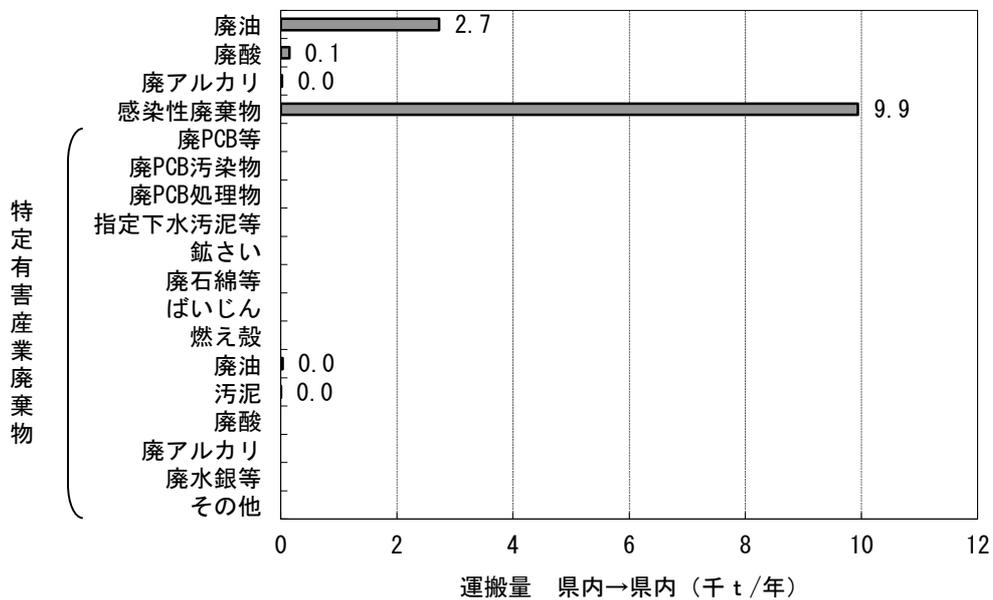


図-9 特別管理産業廃棄物の県内から県内への品目別運搬量

表-8 特別管理産業廃棄物の県内から県外への品目別運搬量

(単位：t/年)

運搬元	特別管理産業廃棄物													その他				
	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等	廃PCB汚染物	廃PCB処理物	指定下水汚泥等	鉱さい	廃石綿等	ばいじん	燃え殻	廃油		汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等
北海道	6	0	0		1	1									4	0	0	0
青森県	462				0				105	180					177			
岩手県				24					357									
宮城県	382					510												
秋田県	766	136				18									10	16		13
山形県																		
福島県	10,400	298	9	5	73													
茨城県	3,763	1,043		40						9,745		565			102	84	34	1
栃木県	4,982	1,465	2,350	56					1	2,044							60	
群馬県	18,398	1,999	1	10	15,626	57	624		3	1								2
千葉県	5,103	2,010	232	470	49	7	355		2									0
東京都	1,463	69	40	13	1,250	7			1									0
神奈川県	8,357	514	2,508	150	417	1	1,198		36	221		262						1
新潟県	777	0	216	26														
富山県	776	313	154	0					121	86		10						5
石川県																		
福井県																		
山梨県	1																	
長野県	433	14	208	63	0				13									
岐阜県	56								56									
静岡県	352	161	10	31	0				3									146
愛知県	245																	
三重県	147	86							61									
滋賀県	0								0									
京都府																		
大阪府	379																	
兵庫県	952	357	7	2	307	0												
奈良県	14	14			0													
和歌山県																		
鳥取県	38	30			5	2												
島根県																		
岡山県	171	66							95									
広島県	199	98	333	0														
山口県	4																	
徳島県																		
香川県																		
愛媛県	168																	
高知県	2																	
福岡県	3,215	46	6	4	2													
佐賀県																		
長崎県																		
熊本県																		
大分県																		
宮崎県																		
鹿児島県																		
沖縄県																		
さいたま市	3,737	231	1,388	1,290	20													0
川崎市	739	732							0									5
川口市	4,831		2,967	1,064	0													4
越谷市																		
県内一県外	71,319	9,683	10,276	4,233	17,558	1,272	1,705		855	12,335	842	1,162	4,186	1,764	5,412	0	36	

表-9 特別管理産業廃棄物の県内から県内への品目別運搬量

(単位：t/年)

運搬元	特別管理産業廃棄物																			
	合計	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃PCB等	廃PCB汚染物	廃PCB処理物	指定下水汚泥等	鉛さい	廃石綿等	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃水銀等	その他	
県内→県内	12,869	2,725	148	25	9,940									31	0					

5. 産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量

県内での産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の最終処分量を整理すると表-10のとおりである。

最終処分量は11千tとなっており、県内での最終処分量は、県内から県内への最終処分量が99.9%を占めている。また、県内での最終処分量の約76%が廃プラスチック類である。

表-10 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）の県外から県内、県内から県内への品目別最終処分量

(単位：t/年)

運搬元	産業廃棄物																合計					
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	リフト・コンクリート・磁器くず	紙さい	がれき類		動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第十三号廃棄物	その他
県外→県内																						8
県内→県内	1,995					7,868							3	368			9					34
合計	1,995					7,868							3	368			9					42

6. 特別管理産業廃棄物の県内・県外別、品目別最終処分量

県内処分業者による特別管理産業廃棄物の最終処分量の実績は、昨年度と同様に実績がなかった。

令和7年度
埼玉県産業廃棄物処理実績報告書等集計業務報告書
(令和6年度実績)

令和8年3月発行

埼玉県環境部資源循環推進課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL 048-830-3105



埼玉県のマスコット「コバトン」